

平成24年度 全国学力・学習状況調査

宮城県の調査結果報告

目 次

I	平成24年度全国学力・学習状況調査の概要	P1
1	調査の目的	
2	調査実施日	
3	対象学年	
4	調査事項及び内容	
5	調査の方式	
6	参加状況	
7	調査結果の概要	
8	今後の対応	
II	各教科の調査の結果	P3
1	小学校（国語） 主として「知識」に関するA問題	
2	小学校（国語） 主として「活用」に関するB問題	
3	小学校（算数） 主として「知識」に関するA問題	
4	小学校（算数） 主として「活用」に関するB問題	
5	小学校（理科）	
6	中学校（国語） 主として「知識」に関するA問題	
7	中学校（国語） 主として「活用」に関するB問題	
8	中学校（数学） 主として「知識」に関するA問題	
9	中学校（数学） 主として「活用」に関するB問題	
10	中学校（理科）	
III	類似問題の経年比較	P23
IV	児童生徒質問紙調査結果	P25
V	学校質問紙調査結果	P27
VI	平均正答率の高い県との比較	P29
VII	平成21年度調査結果との比較	P32

I 全国学力・学習状況調査結果の概要

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査実施日 平成24年4月17日(火)

3 対象学年 抽出された学校の小学校第6学年、中学校第3学年

4 調査事項及び内容

- (1) 教科に関する調査 小学校6年生：国語，算数，理科 中学校3年生：国語，数学，理科
- (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査：児童生徒に対する調査，学校に対する調査

5 調査の方式

文部科学省が調査対象として抽出した学校における該当学年の全児童生徒を対象とした全国的な抽出調査

6 参加状況(仙台市を含む)

	調査対象者在籍学校数	抽出校数	抽出率	調査児童生徒
公立小学校	423校	134校	31.7%	6,690名
公立中学校	214校	117校	54.7%	11,009名

7 調査結果の概況

(1) 平成19年度から平成24年度までの教科に関する調査結果一覧

○ 平成22年度，24年度の値は，上段は抽出校の平均正答率，下段は抽出校の平均正答率をもとに，悉皆調査を実施した場合の県の平均正答率を想定した値の範囲(95%信頼区間 文部科学省の説明による)。

			「知識」に関するA問題				「活用」に関するB問題			
			問題数	全国 平均正答率	宮城県 平均正答率	全国平均 との比較	問題数	全国 平均正答率	宮城県 平均正答率	全国平均 との比較
小学校	国語	H24	17	81.6 81.4-81.7	81.7 81.2-82.3	+0.1	11	55.6 55.4-55.8	55.9 55.1-56.8	+0.3
		H22	15	83.3 83.2-83.5	83.4 82.7-84.0	+0.1	10	77.8 77.7-78.0	77.7 76.9-78.5	-0.1
		H21	18	69.9	67.4	-2.5	10	50.5	49.8	-0.7
		H20	18	65.4	64.2	-1.2	12	50.5	49.2	-1.3
		H19	18	81.7	80.6	-1.1	10	62.0	61.0	-1.0
	算数	H24	19	73.3 73.1-73.5	72.7 71.9-73.5	-0.6	13	58.9 58.7-59.1	58.1 57.2-59.1	-0.8
		H22	19	74.2 74.0-74.4	73.8 72.9-74.7	-0.4	12	49.3 49.1-49.5	47.8 46.8-48.7	-1.5
		H21	18	78.7	77.5	-1.2	14	54.8	54.0	-0.8
		H20	19	72.2	71.3	-0.9	13	51.6	50.4	-1.2
		H19	19	82.1	81.1	-1.0	14	63.6	61.4	-2.2
中学校	国語	H24	32	75.1 75.0-75.2	76.2 75.6-76.8	+1.1	9	63.3 63.2-63.4	65.5 64.9-66.2	+2.2
		H22	35	75.1 75.0-75.2	76.2 75.6-76.7	+1.1	10	65.3 65.1-65.5	66.7 66.0-67.4	+1.4
		H21	33	77.0	78.1	+1.1	11	74.5	76.4	+1.9
		H20	34	73.6	73.8	+0.2	10	60.8	61.8	+1.0
		H19	37	81.6	80.8	-0.8	10	72.0	71.0	-1.0
	数学	H24	36	62.1 62.0-62.3	60.8 59.9-61.8	-1.3	15	49.3 49.2-49.5	50.5 49.4-51.6	+1.2
		H22	36	64.6 64.4-64.8	64.4 63.4-65.4	-0.2	14	43.3 43.1-43.5	44.0 42.9-45.1	+0.7
		H21	33	62.7	62.1	-0.6	15	56.9	57.7	+0.8
		H20	36	63.1	61.4	-1.7	15	49.2	49.1	-0.1
		H19	36	71.9	70.3	-1.6	17	60.6	59.4	-1.2

			問題数	全国 平均正答率	宮城県 平均正答率	全国平均 との比較
小学校	理科	H24	24	60.9 60.8-61.1	62.1 61.4-62.9	+1.2
中学校			26	51.0 50.9-51.1	52.7 52.0-53.5	+1.7

(2) 教科に関する調査の結果

① 小学生の結果について

- 国語
 - ・「知識」に関するA問題の平均正答率は81.7%で、全国平均を0.1ポイント上回っている。
 - ・「活用」に関するB問題の平均正答率は55.9%で、全国平均を0.3ポイント上回っている。
- 算数
 - ・「知識」に関するA問題の平均正答率は72.7%で、全国平均を0.6ポイント下回っている。
 - ・「活用」に関するB問題の平均正答率は58.1%で、全国平均を0.8ポイント下回っている。
- 理科
 - ・理科の平均正答率は62.1%で、全国平均を1.2ポイント上回っている。
- 小学生の平均正答率については、5教科中、国語の「知識」に関するA問題、「活用」に関するB問題と理科の3教科が全国平均を上回った。また、算数は「知識」に関するA問題は全国平均を下回ったものの、「活用」に関するB問題では全国平均との差が縮まりつつあり、全体として改善が図られていると捉えている。

② 中学生の結果について

- 国語
 - ・「知識」に関するA問題の平均正答率は76.2%で、全国平均を1.1ポイント上回っている。
 - ・「活用」に関するB問題の平均正答率は65.5%で、全国平均を2.2ポイント上回っている。
- 数学
 - ・「知識」に関するA問題の平均正答率は60.8%で、全国平均を1.3ポイント下回っている。
 - ・「活用」に関するB問題の平均正答率は50.5%で、全国平均を1.2ポイント上回っている。
- 理科
 - ・理科の平均正答率は52.7%で、全国平均を1.7ポイント上回っている。
- 中学生の平均正答率については、5教科中、数学の「知識」に関するA問題については全国平均との差があり課題が見られるものの、他の4つの教科で全国平均を上回っており、全体としては、ほぼ順調に改善が図られていると捉えている。

8 今後の対応

県教委としては、今回の調査結果を詳細に分析し、学力向上に向けた指導改善の方向性やポイントについて、各市町村教育委員会及び各学校に示すこととしており、県が推進する各事業においても分析結果を生かし、改善充実を図っていく。

また、支援事業として、希望利用校のデータの分析を行い、児童生徒、学校、市町村教育委員会に分析結果の提供も行う予定である。

さらに、今回、震災とその後の厳しい環境にくじけず、学校や児童生徒が努力を重ねてきた姿勢を大切に、更に意欲や目標をもって学習に取り組んでいけるよう志教育についても一層推進を図っていく。

今後も、調査結果を踏まえて、市町村教育委員会と連携を図りながら、教員の教科指導力の向上、児童生徒の学習習慣の形成、教育環境基盤の充実に努め、児童生徒の学力向上に向けて継続して取り組んでいく。

II 各教科の調査の結果

1 小学校国語A問題

(1) 結果の概要

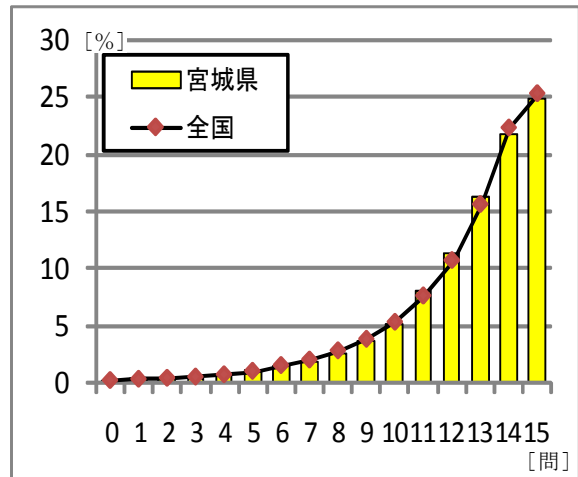
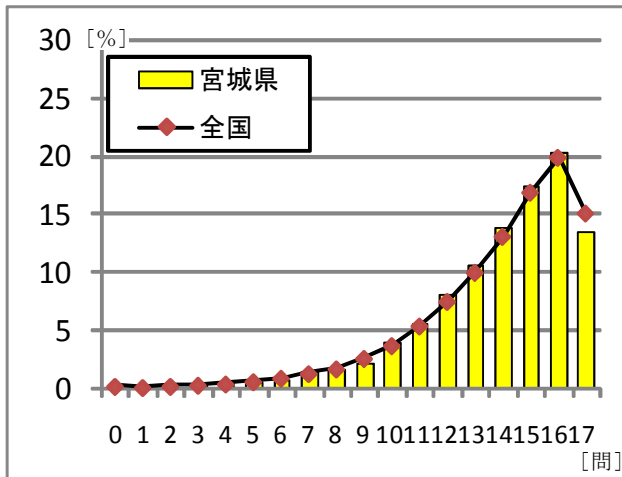
- 平均正答率は81.7%であり、昨年同様全国平均を0.1ポイント上回っている。
- 目的や意図に応じて、必要となる事柄を整理して簡潔に書くことに課題がある。

(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 今年度は100%正答の割合が全国と比較して減少したが、14問～16問(80%～90%程度)正答した児童の割合が全国を上回っている。

【平成24年度正答数度数分布グラフ】

【平成22年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 「書くこと」を除く領域で、平均正答率が、全国平均を上回る結果となり改善が図られている。
- 「書くこと」の領域の平均正答率は、55.0%で全国平均を2.5ポイント下回り、正答率の乖離も22年度と比べて0.8ポイント大きくなっている。

領域	話すこと・聞くこと					書くこと					読むこと					言語事項					合計				
年度	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	79.8	82.7	65.2	76.4	54.5	55.0	66.0	84.9	50.7	83.3	82.5	73.6	67.2	44.1	67.0	86.8	86.0	60.9	64.0	86.0	81.7	83.4	67.4	64.2	80.6
全国平均正答率(%)	79.4	83.2	68.0	76.1	56.6	57.5	67.7	85.4	53.3	85.3	82.1	74.1	68.7	44.5	67.3	86.3	85.8	64.2	65.2	86.8	81.6	83.3	69.9	65.4	81.7
全国との比較	0.4	-0.5	-2.8	0.3	-2.1	-2.5	-1.7	-0.5	-2.6	-2.0	0.4	-0.5	-1.5	-0.4	-0.3	0.5	0.2	-3.3	-1.2	-0.8	0.1	0.1	-2.5	-1.2	-1.1

(4) 設問別調査結果

○全国との乖離が大きい設問等 (◇: 乖離がプラス ◆乖離がマイナス, []内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと	◇ 収集した情報を関係付けながら話し合い、整理した図の中から適切な内容を取り出して書く問題の正答率は93.0%で、全国平均を0.5ポイント上回っている。[3ア]
書くこと	◆ 目的や意図に応じ、新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く問題の正答率は38.8%で、全国平均を4.4ポイント下回っている。[7] ◆ 創作した物語の語り手が寄り添っている人物として適切なものを選択する問題の正答率は71.3%で、全国平均を0.5ポイント下回っている。[6]
読むこと	◇ 場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、四つの会話文の音読の仕方として適切なものをそれぞれ選択する問題の正答率は74.7%で、全国平均を1.4ポイント上回っている。[4]
言語事項	◇ 全ての設問で80%を超える正答率である。「漢字を読む」(3問)、「漢字を書く」(3問)では、全国平均を上回ったものが4問、下回ったものが2問である。[1一(1)～1二(3)] ◇ 日常生活で使われている慣用句を集め、それらの意味を適切に捉える問題の正答率は81.1%で、全国平均を1.4ポイント上回っている。[8] ◆ 学年別漢字配当表に示されている漢字「申」の正しい筆順を適切に捉える問題の正答率は82.3%で、全国平均を0.4ポイント下回っている。[9一]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			宮城県 (公立)		全国 (公立)		正 答 率 の か い 離	無 解 答 率 の か い 離
		話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1ー(1)	漢字を読む (新しいビルを建築する)				○				85.4	1.5	89.3	1.3	-3.9	0.2
1ー(2)	漢字を読む (親から独立してくらす)				○				94.9	1.5	92.1	2.4	2.8	-0.9
1ー(3)	漢字を読む (参加することを許す)				○				95.3	1.3	95.2	1.3	0.1	0.0
1二(1)	漢字を書く (病院でいしゃにみてもらう)				○				84.8	3.6	83.1	4.2	1.7	-0.6
1二(2)	漢字を書く (東からたいようがのぼる)				○				80.9	1.6	82.8	1.6	-1.9	0.0
1二(3)	漢字を書く (白いぬのを青くさめる)				○				94.1	2.5	90.5	4.2	3.6	-1.7
2	話し手の話の内容を聞きながら書いた質問について、その狙いを適切に説明したものを選択する	○							66.1	0.6	65.2	0.6	0.9	0.0
3ア	収集した情報を関係付けながら話し合い、整理した図の中から適切な内容を取り出して書く	○							93.0	0.9	92.5	0.9	0.5	0.0
3イ	収集した情報を関係付けながら話し合い、整理した図の中から共通する内容を取り出して書く	○							80.3	0.9	80.4	1.1	-0.1	-0.2
4	四つの会話文の音読の仕方として適切なものをそれぞれ選択する			○					74.7	0.5	73.3	0.6	1.4	-0.1
5ア	百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を取り出して書く			○					91.1	1.2	91.1	1.5	0.0	-0.3
5イ				○					93.0	1.4	92.2	1.7	0.8	-0.3
6	創作した物語の語り手が寄り添っている人物として適切なものを選択する		○	○					71.3	1.3	71.8	1.4	-0.5	-0.1
7	新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く		○						38.8	6.9	43.2	7.5	-4.4	-0.6
8	日常生活で使われている慣用句を集め、それらの意味を適切に捉える				○	○			81.1	6.5	79.7	6.6	1.4	-0.1
9ー	学年別漢字配当表に示されている漢字(申)の正しい筆順を適切に捉える				○				82.3	6.6	82.7	6.7	-0.4	-0.1
9二	学年別漢字配当表に示されている漢字(赤)の正しい筆順を適切に捉える				○				82.5	6.7	81.4	7.0	1.1	-0.3

2 小学校国語B問題

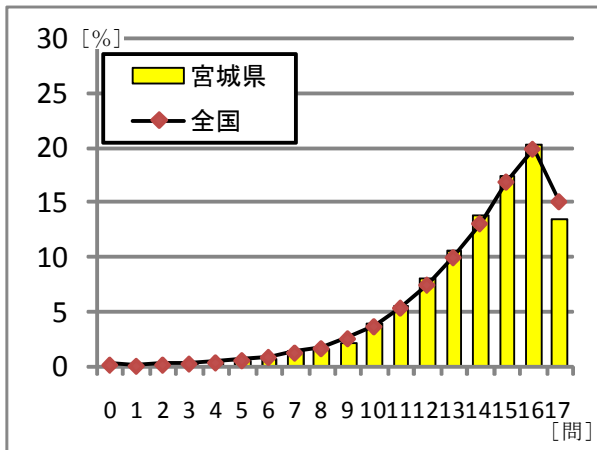
(1) 結果の概要

- 平均正答率は55.9%であり、全国平均を0.3ポイント上回り、改善が見られる。
- 「話すこと・聞くこと」の領域では、資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表すること、「書くこと」の領域では、複数の記事を結びつけながら読み、事実を基にして自分の考えを記述することに課題が見られる。

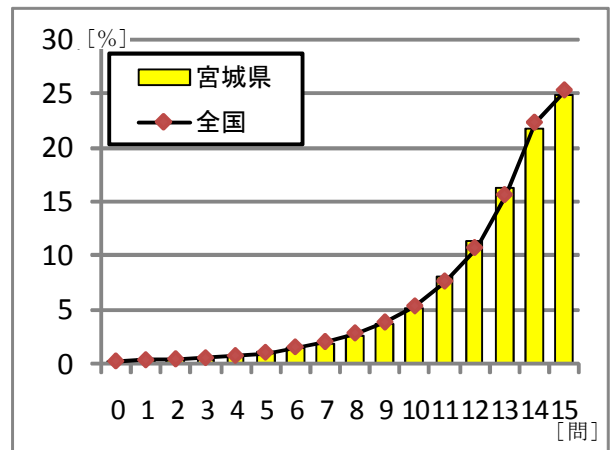
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 全国とのかい離はほとんど見られないが、10問(60%)以上正答している児童の割合が全国と同じになり、また、正答数の少ない児童の割合が全国より減少し、底上げが図られている状況が見られる。

【平成24年度正答数度数分布グラフ】



【平成22年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 「書くこと」の領域の平均正答率は47.0%であり、全国平均を0.2ポイント上回っている。
- 「読むこと」と「言語事項」の領域の平均正答率は全国平均を下回ったが、全国平均とのかい離がそれぞれ0.2ポイント小さくなっている。

領域	話すこと・聞くこと					書くこと					読むこと					言語事項					合計				
	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	62.6	75.0	61.1	72.7	67.6	47.0	92.2	12.7	48.0	60.5	55.6	73.1	55.6	46.6	56.5	54.7	72.3	58.5	79.4	55.9	77.7	49.8	49.2	61.0	
全国平均正答率(%)	63.0	75.4	61.3	73.0	70.9	46.8	91.6	14.5	49.1	61.7	55.7	73.4	56.5	48.3	57.7	55.2	73.0	59.7	77.0	55.6	77.8	50.5	50.5	62.0	
全国との比較	-0.4	-0.4	-0.2	-0.3	-3.3	0.2	0.6	-1.8	-1.1	-1.2	-0.1	-0.3	-0.9	-1.7	-1.2	-0.5	-0.7	-1.2	2.4	0.3	-0.1	-0.7	-1.3	-1.0	

(4) 設問別調査結果

○全国とのかい離が大きい設問等（◇：かい離がプラス ◆かい離がマイナス、[]内の記号は設問番号）

話すこと・聞くこと

- ◆ 資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表する問題の正答率は50.7%であり、全国平均を1.9ポイント下回っている。[2二]

書くこと

- ◇ 目的や意図に応じ、依頼する具体的な内容として適切なものを選択する問題の正答率は67.1%であり、全国平均を2.3ポイント上回っている。[1一]
- ◆ 目的に応じ、複数の記事を結びつけながら読もうとするとき、該当する記事の見出しとして適切なものを選択する問題の正答率は34.9%であり、全国平均を2.8ポイント下回っている。[3三]

読むこと

- ◇ 目的に応じて、雑誌の特徴を適切に説明しているものを選択する問題の正答率は88.7%であり、全国平均を1.4ポイント上回っている。[3ア]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			宮城県 (公立)		全国 (公立)		正 答 率 の か い 離	無 解 答 率 の か い 離
		話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1一	目的や意図に応じ、依頼する具体的な内容として適切なものを選択する		○			○			67.1	2.4	64.8	2.4	2.3	0.0
1二	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する		○		○		○		54.7	6.4	55.2	7.0	-0.5	-0.6
1三	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置を適切に選択する		○			○			27.7	2.0	23.5	2.1	4.2	-0.1
2一	参加者から出された質問の内容を適切に捉え、まとめごと整理する	○				○			84.8	2.2	84.3	2.5	0.5	-0.3
2二	提示された資料を読み取った上で、相手に対して質問をしたい内容を明確にして発表するように記述する	○	○				○		50.7	14.7	52.6	14.5	-1.9	0.2
2三	話し合いの目的を再確認し、計画的に話し合いを進めようとする司会の役割を適切に説明したものを選択する	○				○			52.4	7.4	52.2	7.6	0.2	-0.2
3一ア	雑誌の特徴の説明として適切なものを選択する			○		○			88.7	2.0	87.3	2.6	1.4	-0.6
3一イ	記事の特徴の説明として適切なものを取り出して書く			○			○		44.7	9.0	45.0	9.0	-0.3	0.0
3二	編集者の意図を説明したものとして適切なものを選択する			○		○			51.9	3.2	51.0	3.8	0.9	-0.6
3三	目的に応じ、複数の記事を結び付けながら読もうとするとき、該当する記事の見出しとして適切なものを選択する			○		○			57.8	3.6	57.6	4.2	0.2	-0.6
3四	二つの記事に書かれている内容を結び付けながら読み、理由となる事実を基にして自分の考えを記述する		○	○			○		34.9	16.9	37.7	17.0	-2.8	-0.1

3 小学校算数A問題

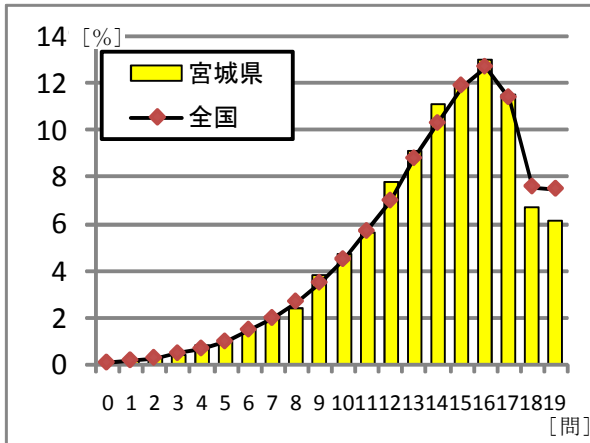
(1) 結果の概要

- 平均正答率は72.7%であり、全国平均を0.6ポイント下回っている。また、全国平均とのかい離は22年度より0.2ポイント大きくなっており、課題が見られる。
- 除数が整数である場合の分数の除法の計算や、加法と乗法の混合した整数の計算、百分率の意味の理解などに課題がある。

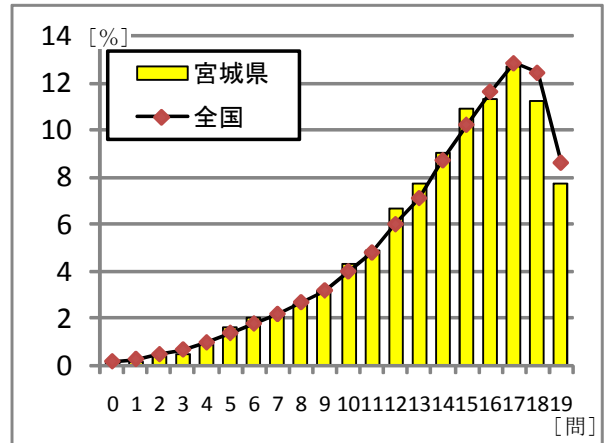
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 22年度と同様に18問（95%程度）以上正答した児童の割合が全国と比べて低い状況が見られ、逆に12問～15問（65%～80%程度）正答した児童の割合は、全国と比べて高くなっている。

【平成24年度正答数度数分布グラフ】



【平成22年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 「図形」の領域の平均正答率は73.0%で全国平均を上回っており、「量と測定」の領域は全国平均を下回っているものの、全国平均とのかい離は、22年度よりも1.4ポイント小さくなっている。「数と計算」、「数量関係」の領域とも全国平均を下回っており、全国とのかい離は22年度より大きくなり、課題が見られる。

領域	数と計算					量と測定					図形					数量関係					合計				
	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	74.6	75.0	81.2	76.2	79.6	71.0	72.0	77.4	56.1	85.1	73.0	83.7	81.1	71.6	86.3	71.9	63.4	63.0	69.8	74.0	72.7	73.8	77.5	71.3	81.1
全国平均正答率(%)	75.0	74.1	82.8	76.8	81.5	71.7	74.1	78.5	56.2	86.1	72.6	83.1	81.3	72.7	86.1	74.4	65.7	64.2	72.4	75.4	73.3	74.2	78.7	72.2	82.1
全国との比較	-0.4	0.9	-1.6	-0.6	-1.9	-0.7	-2.1	-1.1	-0.1	-1.0	0.4	0.6	-0.2	-1.1	0.2	-2.5	-2.3	-1.2	-2.6	-1.4	-0.6	-0.4	-1.2	-0.9	-1.0

(4) 設問別調査結果

○全国とのかい離が大きい設問等 (◇ : かい離がプラス ◆かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

数と計算

- ◆ 除数が整数である場合の分数の除法の計算の正答率は76.0%であり、全国平均を6.4ポイント下回っている。[1(7)]

量と測定

- ◆ 三角形の底辺と高さの関係についての理解の問題の正答率は54.1%であり、全国平均を0.5ポイント下回っている。[5(2)]

図形

- ◇ 四角形の四つの角の大きさの和が360°であることの理解の問題の正答率は78.3%であり、全国平均を1.4ポイント上回っている。[6(1)]

数量関係

- ◆ 加法と乗法の混合した整数の計算の正答率は76.9%であり、全国平均を3.1ポイント下回っている。[1(5)]
- ◆ 百分率の意味についての理解の問題の正答率は55.6%であり、全国平均を2.7ポイント下回っている。[8]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			宮城県 (公立)		全国 (公立)		正 答 率 の か い 離	無 回 答 率 の か い 離
		数 と 計 算	量 と 測 定	図 形	数 量 関 係	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1 (1)	132+459 を計算する	○						○	96.4	0.1	95.7	0.1	0.7	0.0
1 (2)	148÷37 を計算する	○						○	94.7	1.2	94.3	1.5	0.4	-0.3
1 (3)	4.6-0.21 を計算する	○						○	64.9	1.4	63.1	1.6	1.8	-0.2
1 (4)	90×0.7 を計算する	○						○	90.7	0.5	90.8	0.8	-0.1	-0.3
1 (5)	6×2+8×3 を計算する				○			○	76.9	0.3	80.0	0.5	-3.1	-0.2
1 (6)	3/7-2/5 を計算する	○						○	85.5	1.9	85.7	2.1	-0.2	-0.2
1 (7)	4/5÷8 を計算する	○						○	76.0	6.7	82.4	4.2	-6.4	2.5
2 (1)	47000は1000が何個集まった数かを書く	○						○	90.3	0.5	88.8	0.5	1.5	0.0
2 (2)	596の1/100の大きさの数を小数で書く	○						○	73.8	3.5	73.7	3.7	0.1	-0.2
3 (1)	120cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、二つのテープの長さの関係を表している図を選ぶ	○						○	32.0	1.0	34.0	1.2	-2.0	-0.2
3 (2)	120cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、白いテープの長さを求める式を書く	○						○	41.6	3.1	41.1	3.4	0.5	-0.3
4	5日間で1日に平均何個のトマトがとれたことになるのかを書く		○					○	85.7	1.2	86.9	1.1	-1.2	0.1
5 (1)	示されたはがきの面積は約何cmかを選ぶ		○					○	60.8	1.0	60.6	1.2	0.2	-0.2
5 (2)	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ		○					○	54.1	1.0	54.6	1.2	-0.5	-0.2
6 (1)	三つの角の大きさが60°、80°、90°である四角形の、残りの角の大きさを書く			○				○	78.3	2.1	76.9	2.1	1.4	0.0
6 (2)	直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く			○				○	65.2	2.7	64.8	2.7	0.4	0.0
7	示された半円をかくために、コンパスの針を刺す場所と、コンパスの開いている長さを答える			○				○	75.7	1.5	76.1	1.6	-0.4	-0.1
8	犬を飼っている8人が学級全体の人数の25%に当たるとき、学級全体の人数を求める式と答えを書く				○			○	55.6	10.5	58.3	10.0	-2.7	0.5
9	直方体の底面の大きさを変えずに、高さを2倍、3倍、…にすると、体積はどのように変わるかを選ぶ		○		○			○	83.2	3.6	84.8	3.4	-1.6	0.2

4 小学校算数B問題

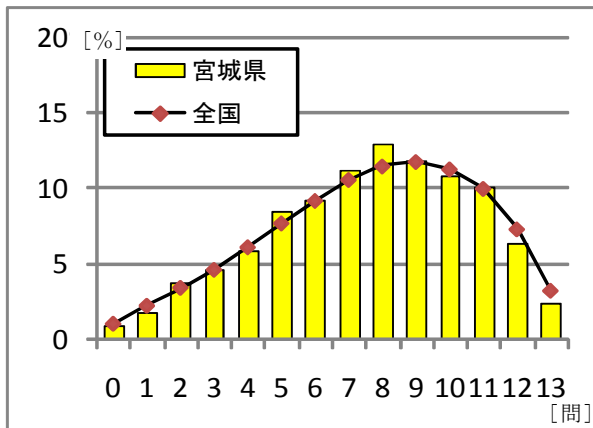
(1) 結果の概要

- 平均正答率は58.1%であり、全国平均を0.8ポイント下回っている。しかし、全国平均とのかい離は22年度より0.7ポイント小さくなっており、やや改善が見られる。
- 「跳び箱の高さを変えることができるかを判断し、そのわけを書く」、「表から適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を書く」などの問題について課題がある。

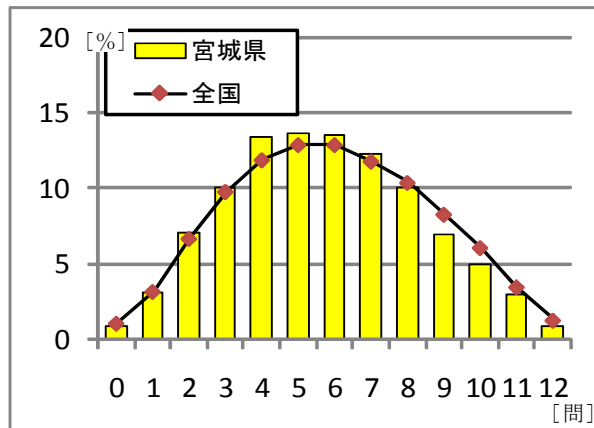
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向がみられる。
- 全国と比べ、12問（90%程度）以上正答した児童の割合は低い状況が見られる。

【平成24年度正答数度数分布グラフ】



【平成22年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 全ての領域で全国平均を下回っているものの、「量と測定」、「図形」、「数量関係」の各領域において、22年度より全国平均とのかい離が小さくなっている。「数と計算」の領域においては、全国平均とのかい離は、22年度より大きくなり、課題が見られる。

領域	数と計算					量と測定					図形					数量関係					合計				
	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	52.5	54.8	55.0	64.3	55.0	60.2	30.6	58.7	51.9	55.7	63.2	40.3	54.6	59.9	71.0	48.1	52.8	57.1	43.8	63.6	58.1	47.8	54.0	50.4	61.4
全国平均正答率(%)	54.0	55.8	55.8	65.2	58.9	60.8	33.3	59.9	53.3	58.0	63.3	42.0	56.4	61.2	72.5	49.5	54.3	56.8	44.9	65.5	58.9	49.3	54.8	51.6	63.6
全国との比較	-1.5	-1.0	-0.8	-0.9	-3.9	-0.6	-2.7	-1.2	-1.4	-2.3	-0.1	-1.7	-1.8	-1.3	-1.5	-1.4	-1.5	0.3	-1.1	-1.9	-0.8	-1.5	-0.8	-1.2	-2.2

(4) 設問別調査結果

○全国とのかい離が大きい設問等 (◇ : かい離がプラス ◆かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

数と計算

- ◆ 示された複数の情報を関連付けて解釈し、算数の用語で的確に表現されている記述を選ぶ問題の正答率は53.9%で、全国平均を2.3ポイント下回っている。[2(3)]

量と測定

- ◇ 面積が等しい直角三角形の数に着目し、長方形に内接するひし形の面積の求め方の理解の問題の正答率は75.7%で、全国平均を1.5ポイント上回っている。[3(1)]
- ◇ 与えられた条件に合う時刻を求める問題の正答率は82.2%で、全国平均を0.9ポイント上回っている。[4(1)]

図形

- ◆ 一輪車の図から円を見だし、円の性質を用いて長さを求める問題の正答率は63.5%で、全国平均を0.9ポイント下回っている。[5(1)]

数量関係

- ◆ 必要な情報を用いて、指定された高さにすることができるかどうかを判断し、その理由を記述する問題の正答率は23.7%で、全国平均を3.1ポイント下回っている。[2(2)]
- ◆ 表から適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を記述する問題の正答率は20.2%で、全国平均を3.1ポイント下回っている。[5(3)]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			宮城県 (公立)		全国 (公立)		正 答 率 の か い 離	無 回 答 率 の か い 離
		数 と 計 算	量 と 測 定	図 形	数 量 関 係	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1 (1)	代金320円に対して520円を支払ったとき、おつりとしてもらった2枚の硬貨の種類を書く	○				○		92.2	0.3	92.6	0.5	-0.4	-0.2	
1 (2)	代金630円に対して、1030円よりも1130円を支払ったときの方が、おつりの硬貨の枚数が少なくなるわけを書く	○					○	40.7	5.9	42.5	5.6	-1.8	0.3	
2 (1)	中型の跳び箱を8段にしたときの高さを求める式を選ぶ		○		○	○		87.5	0.9	87.1	1.0	0.4	-0.1	
2 (2)	中型の跳び箱を70cmの高さにすることができるかどうかを判断し、そのわけを書く	○	○				○	23.7	1.2	26.8	1.3	-3.1	-0.1	
2 (3)	2種類の跳び箱を30cm高くすると同じ高さになるわけとして、正しい記述を選ぶ	○	○			○		53.9	2.1	56.2	2.2	-2.3	-0.1	
3 (1)	縦6cm、横10cmの長方形に内接するひし形の面積を求める式と答えを書く		○	○			○	75.7	3.4	74.2	4.1	1.5	-0.7	
3 (2)	面積が等しい直角三角形を基に、長方形に内接する四角形の面積と長方形の面積の関係を 書く		○	○			○	50.4	8.7	51.2	8.6	-0.8	0.1	
4 (1)	午前11時30分までにご飯が出来上がるようにするために、所要時間40分を基に、こんろに点火する時刻を求める		○				○	82.2	1.5	81.3	1.7	0.9	-0.2	
4 (2)	40分以内でできることを判断するために、所要時間の範囲から適切な数値の組み合わせ を書く	○	○				○	72.0	1.9	72.8	2.0	-0.8	-0.1	
4 (3)	はかりの目盛りと1人分の材料と分量を基に、班の人数分のご飯を作るために必要な水の重さの求め方と答えを書く	○	○				○	32.5	11.9	32.8	10.9	-0.3	1.0	
5 (1)	一輪車の高さを調節したときの、示された長さを求める		○	○			○	63.5	6.2	64.4	5.7	-0.9	0.5	
5 (2)	一輪車のタイヤの回転数と進んだ長さが比例の関係にあることを基に、トラック一周の長さを求める式を選ぶ				○	○		61.2	5.8	60.9	5.8	0.3	0.0	
5 (3)	示された表から、合計の人数を基にした乗れる人数の割合は、男子と女子ではどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く				○		○	20.2	10.7	23.3	10.6	-3.1	0.1	

5 小学校理科問題

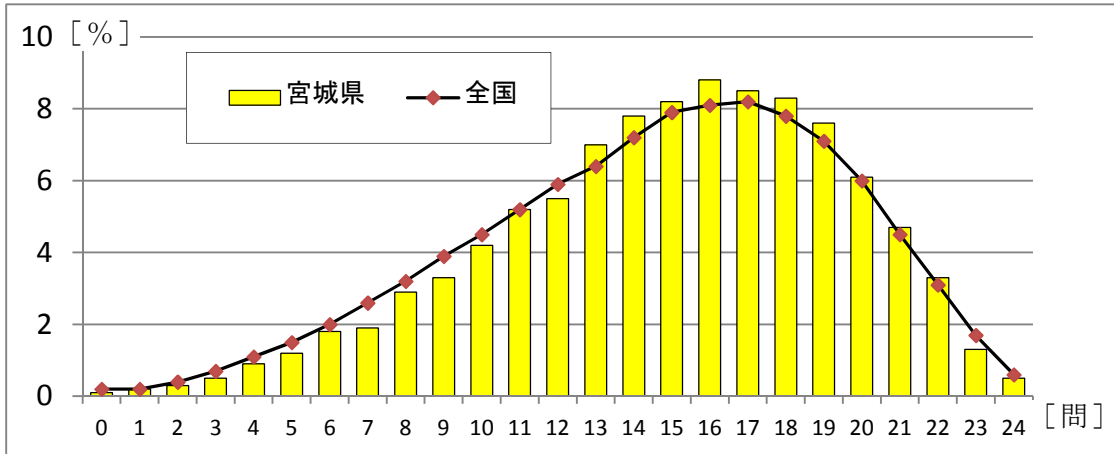
(1) 結果の概要

- 平均正答率は 62.1%であり，全国平均を 1.2 ポイント上回っている。
- 全ての領域で，平均正答率が全国平均を上回っている。
- 平均無答率は，全 24 問中 22 問で全国平均を下回っている。
- 記述式の問題の平均正答率は，3 問全てで全国平均を下回っている。

(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 13 問～22 問(54%～92%程度)正答した児童の割合が全国平均を上回り，正答数が 12 問(50%)以下と 23 問(95%程度)以上の児童の割合が全国平均を下回っている。

【平成 24 年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 主として「知識」に関する問題の平均正答率が 71.5%で，全国平均を 2.4 ポイント上回っている。
- 主として「活用」に関する問題の平均正答率が 58.3%で，全国平均を 0.7 ポイント上回っている。
- 「物質」の領域の平均正答率が 63.2%で 1.8 ポイント，「エネルギー」の領域の平均正答率が 60.4%で 0.6 ポイント，「生命」の領域の平均正答率が 69.8%で 1.2 ポイント，「地球」の領域の平均正答率が 51.4%で 0.8 ポイント，それぞれ全国平均を上回っている。

	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	物質	エネルギー	生命	地球	合計
県平均正答率 (%)	71.5	58.3	63.2	60.4	69.8	51.4	62.1
全国平均正答率 (%)	69.1	57.6	61.4	59.8	68.6	50.6	60.9
全国との比較	2.4	0.7	1.8	0.6	1.2	0.8	1.2

(4) 設問別調査結果

○全国とのかい離が大きい設問等 (◇ : かい離がプラス ◆かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

物質	◇ 氷砂糖を水に溶かしたときの全体の重さについて，当てはまるものを選ぶ問題の正答率は 82.4%で，全国平均を 6.1 ポイント上回っている。[1(2)]
	◇ 氷砂糖を細かく割ったときの全体の重さについて，当てはまるものを選ぶ問題の正答率は 89.7%で，全国平均を 3.9 ポイント上回っている。[1(1)]
	◇ 梅ジュースに溶けている砂糖の濃さについて，適切に説明しているものを選ぶ問題の正答率は 68.5%で，全国平均を 2.9 ポイント上回っている。[1(4)]
	◆ 水の状態変化の説明として，当てはまる言葉（温度）を選ぶ問題の正答率は 42.6%で，全国平均を 0.9 ポイント下回っている。[3(5)キ]
エネルギー	◇ 車を動かす力を強くするための工夫について，乾電池のつなぎ方について当てはまる言葉を書く問題の正答率は 64.3%で，全国平均を 2.6 ポイント上回っている。[3(1)イ]
	◆ 車の進行方向と電流の向きとを関係付けて考え，並列つなぎの適切なつなぎ方を選ぶ問題の正答率は 50.7%で，全国平均を 2.0 ポイント下回っている。[3(3)]
	◆ ゴムをねじる回数と車の進む距離の関係を示すグラフから，ゴムをねじる回数を選ぶ問題の正答率は 55.7%で，全国平均を 1.7 ポイント下回っている。[3(2)]
生命	◇ 虫眼鏡の適切な操作方法を選ぶ問題の正答率は 68.8%で，全国平均を 3.8 ポイント上回っている。[2(1)]
	◇ 「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書く問題の正答率は 80.1%で，全国平均を 2.9 ポイント上回っている。[2(4)]
	◆ スイカの受粉と結実の関係を調べる実験について，適切な実験方法を選び，選んだわけを書く問題の正答率は 30.8%で，全国平均を 1.3 ポイント下回っている。[2(5)]
地球	◆ 天気の様子と気温の変化とを関係付けて，気温の変化を表したグラフを選び，選んだわけを書く問題の正答率は 16.3%で，全国平均を 0.6 ポイント下回っている。[4(5)]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			宮城県 (公立)		全国 (公立)		正 答 率 の か い 離	無 正 答 率 の か い 離
		物 質	エ ネ ル ギ ー	生 命	地 球	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1 (1)	氷砂糖を細かく割ったときの全体の重さについて、当てはまるものを選ぶ	○				○			89.7	0.1	85.8	0.3	3.9	-0.2
1 (2)	氷砂糖を水に溶かしたときの全体の重さについて、当てはまるものを選ぶ	○				○			82.4	0.2	76.3	0.4	6.1	-0.2
1 (3)	砂糖水に溶けている氷砂糖の様子について、実験結果から適切な図を選び、選んだわけを書く	○						○	53.9	0.7	54.4	0.9	-0.5	-0.2
1 (4)	梅ジュースに溶けている砂糖の濃さについて、適切に説明しているものを選ぶ	○				○			68.5	0.4	65.6	0.6	2.9	-0.2
2 (1)	虫眼鏡の適切な操作方法を選ぶ			○		○			68.8	0.3	65.0	0.5	3.8	-0.2
2 (2) ア	4月25日のサクラの様子について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選ぶ			○		○			73.3	0.7	73.0	0.8	0.3	-0.1
2 (2) イ				○		○			89.6	0.7	88.4	0.8	1.2	-0.1
2 (3) 太郎	サクラが開花する地域について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選ぶ			○		○			75.6	1.7	75.5	1.7	0.1	0.0
2 (3) 花子				○		○			70.7	1.6	68.9	1.6	1.8	0.0
2 (4)	「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書く			○			○		80.1	8.6	77.2	10.2	2.9	-1.6
2 (5)	スイカの受粉と結実の関係を調べる実験について、適切な実験方法を選び、選んだわけを書く			○				○	30.8	4.1	32.1	4.6	-1.3	-0.5
3 (1) ア	車を動かす力を強くするための工夫について、光電池の特性や乾電池のつなぎ方から当てはまる言葉を書く		○				○		78.6	3.7	76.5	4.3	2.1	-0.6
3 (1) イ			○				○		64.3	4.4	61.7	5.4	2.6	-1.0
3 (2)	ゴムをねじる回数と車の進む距離の関係を示すグラフから、ゴムをねじる回数を選ぶ		○			○			55.7	0.6	57.4	1.0	-1.7	-0.4
3 (3)	車の進行方向と電流の向きとを関係付けて考え、並列つなぎの適切なつなぎ方を選ぶ		○			○			50.7	1.0	52.7	1.3	-2.0	-0.3
3 (4)	電磁石の強さを変えるための実験条件を書く		○				○		52.6	6.4	50.6	7.2	2.0	-0.8
3 (5) オ	水の状態変化の説明として、当てはまる言葉を選ぶ	○				○			63.2	1.8	62.1	2.4	1.1	-0.6
3 (5) カ		○				○			42.4	2.2	42.4	2.8	0.0	-0.6
3 (5) キ		○					○		42.6	2.8	43.5	3.4	-0.9	-0.6
4 (1)	方位磁針の適切な操作方法を選び、その時の太陽の方位を書く				○		○		28.0	2.9	27.3	3.2	0.7	-0.3
4 (2)	方位磁針の名称を書く				○		○		90.9	4.8	89.8	5.7	1.1	-0.9
4 (3)	「かげの観察記録」を基に、木の影の長さの変化を表したグラフを選ぶ				○	○			56.2	3.1	54.6	3.9	1.6	-0.8
4 (4)	木の影がなかった時間の空の様子を選ぶ				○	○			65.8	3.2	64.6	4.1	1.2	-0.9
4 (5)	天気の様子と気温の変化とを関係付けて、気温の変化を表したグラフを選び、選んだわけを書く				○		○		16.3	6.1	16.9	6.7	-0.6	-0.6

6 中学校国語A問題

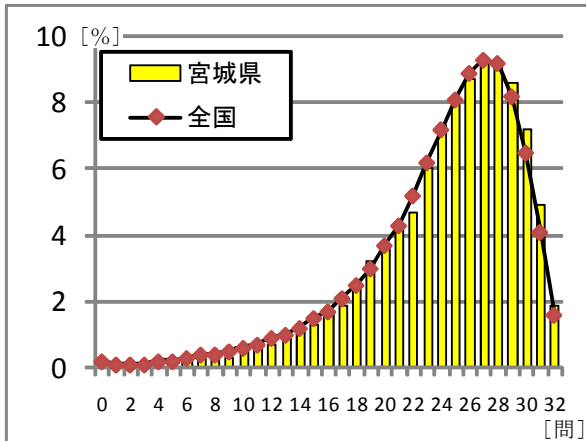
(1) 結果の概要

- 平均正答率は76.2%であり、22年度と同様に全国平均を1.1ポイント上回る結果となっている。
- 「話すこと・聞くこと」や「書くこと」「読むこと」「言語事項」の全ての領域において全国平均を上回り、基礎的・基本的な内容に関する知識・技能について、改善が図られている。

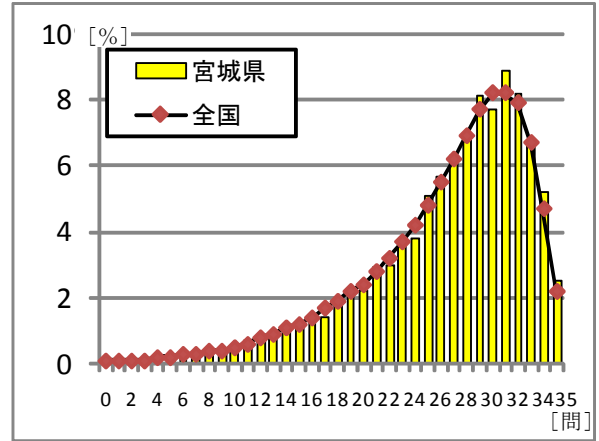
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 29問(90%程度)以上正答した生徒の割合が、全国と比べてやや高い状況が見られる。

【平成24年度正答数度数分布グラフ】



【平成22年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 「話すこと・聞くこと」や「書くこと」「読むこと」「言語事項」の全ての領域において全国平均を上回っている。特に、「話すこと・聞くこと」の領域では全国平均を1.7ポイント、「読むこと」の領域では22年度同様、全国平均を1.3ポイント上回っている。

領域	話すこと・聞くこと					書くこと					読むこと					言語事項					合計				
	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	89.4	75.6	87.0	80.3	90.3	89.0	71.6	65.8	55.8	74.1	66.7	77.9	76.7	71.2	79.9	74.7	76.8	77.4	75.4	78.2	76.2	76.2	78.1	73.8	80.8
全国平均正答率(%)	87.7	74.2	86.8	80.1	90.1	88.1	71.1	64.6	55.2	73.4	65.4	76.6	75.7	71.0	80.6	73.7	75.8	76.0	75.2	80.3	75.1	75.1	77.0	73.6	81.6
全国との比較	1.7	1.4	0.2	0.2	0.2	0.9	0.5	1.2	0.6	0.7	1.3	1.3	1.0	0.2	-0.7	1.0	1.0	1.4	0.2	-2.1	1.1	1.1	1.1	0.2	-0.8

(4) 設問別調査結果

○全国とのかい離が大きい設問等（◇：かい離がプラス ◆かい離がマイナス、[]内の記号は設問番号）

話すこと・聞くこと	◇ 「難易度が高くなるので」を聞き手や場面を意識して分かりやすい表現に直す問題の正答率は91.7%であり、全国平均を1.6ポイント上回っている。[4一]
書くこと	◇ 時々の挨拶に書き足した文の説明として適切なものを選択する問題の正答率は87.2%であり、全国平均を2.3ポイント上回っている。[2二]
読むこと	◇ 取扱い絵表示の内容に加えて気を付けなければならないこととして適切なものを選択する問題の正答率は43.0%であり、全国平均を2.7ポイント上回っている。[6二]
言語事項	◆ 「諸行むじやう」を漢字で書いたものとして適切なものを選択する問題の正答率は53.9%で、全国平均を13.1ポイント下回っている。[7七1]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			宮城県(公立)		全国(公立)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1一	指示棒が指す箇所として適切なものを選択する	○				○			87.1	0.2	85.4	0.3	1.7	-0.1
1二	話題が変わる箇所として適切なものを選択する				○	○			86.8	0.2	85.0	0.4	1.8	-0.2
2一	手紙の前文の最初に書かれる言葉の名称として適切なものを選択する		○			○			89.0	0.4	89.2	0.4	-0.2	0.0
2二	時候の挨拶に書き足した文の説明として適切なものを選択する		○			○			87.2	0.3	84.9	0.5	2.3	-0.2
3一	「よく熟した夏ミカン」に対応する東京の情景を本文中から抜き出す			○			○		87.0	1.8	85.9	2.3	1.1	-0.5
3二	「この村の月は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法の名称を書く			○			○		41.9	19.3	40.4	18.3	1.5	1.0
4一	「難易度が高くなるので」を聞き手に分かりやすい表現に直す	○					○		91.7	1.6	90.1	2.0	1.6	-0.4
4二	「生徒会活動(小学校……児童会活動)」を場に応じた話し言葉にする				○		○		51.4	6.6	47.1	7.7	4.3	-1.1
5一	文章の特徴として適切なものを選択する		○			○			91.9	0.4	90.6	0.6	1.3	-0.2
5二	文鎖について説明する一文を書き加える		○				○		88.1	3.1	87.8	3.6	0.3	-0.5
6一	「このような現象」が何と呼ばれているかを本文中から抜き出す			○			○		70.2	2.2	68.1	3.1	2.1	-0.9
6二	取扱い絵表示の内容に加えて気を付けなければならないこととして適切なものを選択する			○		○			43.0	0.4	40.3	0.6	2.7	-0.2
7一1	漢字を書く(地域の人をショウタイする)				○		○		50.9	15.4	51.5	14.7	-0.6	0.7
7一2	漢字を書く(メートルは長さのタンイである)				○		○		86.2	7.7	86.1	7.4	0.1	0.3
7一3	漢字を書く(鉛筆をカリる)				○		○		71.1	5.7	69.3	5.7	1.8	0.0
7二1	漢字を読む(考えに相違がある)				○		○		69.4	11.2	64.5	12.5	4.9	-1.3
7二2	漢字を読む(不純物が沈殿する)				○		○		88.2	4.6	84.6	6.0	3.6	-1.4
7二3	漢字を読む(会議で決を採る)				○		○		75.7	4.3	73.8	4.8	1.9	-0.5
7三ア	適切な語句を選択する(このカーテンの色は、部屋の雰囲気とよく調和している)				○	○			84.5	0.5	82.6	0.7	1.9	-0.2
7三イ	適切な敬語を選択する(先生が、私の家にいらっしやる)				○	○			92.2	0.4	89.0	0.6	3.2	-0.2
7三ウ	適切な語句を選択する(弟子を手塩にかけて育てる)				○	○			63.2	0.8	60.6	1.1	2.6	-0.3
7三エ	適切な語句を選択する(左なびく雲の間から、春の光がもれている)				○	○			48.6	0.5	46.9	0.8	1.7	-0.3
7三オ	適切な語句を選択する(いかなる困難にもひるむことなく仕事を進めた)				○	○			94.8	0.5	93.5	0.7	1.3	-0.2
7四ア	適切な対義語を選択する(受信)				○	○			88.7	0.4	87.5	0.7	1.2	-0.3
7四イ	適切な対義語を選択する(理想)				○	○			69.9	0.4	66.3	0.8	3.6	-0.4
7五	はがきの表書きを書く				○		○		71.5	2.6	73.7	2.7	-2.2	-0.1
7六1	ローマ字で書く(たけくらべ)				○		○		88.2	2.3	88.8	2.3	-0.6	0.0
7六2	ローマ字を読む(Tosa nikki)				○		○		81.8	4.6	81.9	4.2	-0.1	0.4
7七1	「諸行むじやう」を漢字で書いたものとして適切なものを選択する				○	○			53.9	0.7	67.0	1.1	-13.1	-0.4
7七2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(あらはず)			○			○		91.4	3.0	92.6	3.5	-1.2	-0.5
7八1	漢字の音読みと訓読みの説明として適切なものを選択する				○	○			71.7	0.9	72.0	1.3	-0.3	-0.4
7八2	漢和辞典の「意味」の中から、「観光」の「光」の意味として適切なものを選択する				○	○			80.0	1.4	76.6	1.6	3.4	-0.2

※ 小学校学習指導要領による。

7 中学校国語B問題

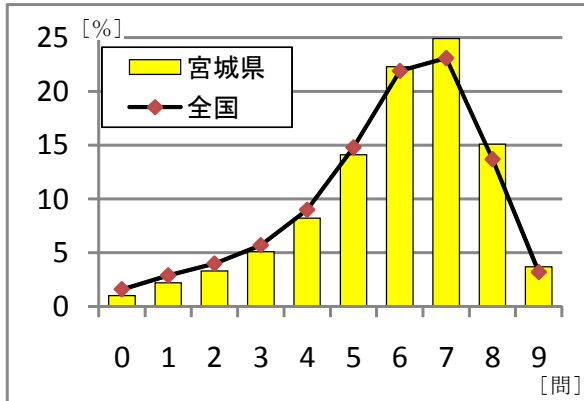
(1) 結果の概要

- 平均正答率が65.5%であり、全国平均を2.2ポイント上回っている。
- 全ての問題の正答率が、全国を上回っている。
- 全ての問題で、無解答率が全国を下回っている。

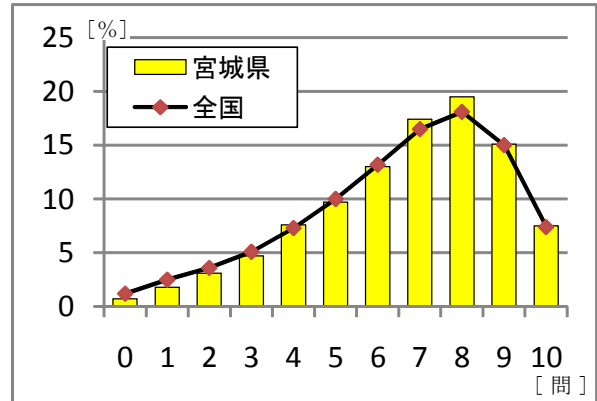
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 7問(80%程度)以上正答した生徒の割合が全国と比べてやや高く、正答数の少ない生徒の割合が減少し、底上げが図られている状況が見られる。

【平成24年度正答数度数分布グラフ】



【平成22年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域全てにおいて全国平均を上回り、特に「話すこと・聞くこと」の領域では全国平均を2.0ポイント、「読むこと」の領域では全国平均を2.5ポイント上回っている。

領域	話すこと・聞くこと					書くこと					読むこと					言語事項					合計						
	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19		
県平均正答率(%)	61.9	47.5			81.8	59.1	62.8	75.0	48.1	63.4	64.0	68.8	76.4	61.8	69.8						63.1	67.4	65.5	66.7	76.4	61.8	71.0
全国平均正答率(%)	59.9	45.6			81.3	57.4	60.2	72.5	46.7	64.4	61.5	67.5	74.5	60.8	70.6						60.5	68.5	63.3	65.3	74.5	60.8	72.0
全国との比較	2.0	1.9			0.5	1.7	2.6	2.5	1.4	-1.0	2.5	1.3	1.9	1.0	-0.8						2.6	-1.1	2.2	1.4	1.9	1.0	-1.0

(4) 設問別調査結果

○全国とのかい離が大きい設問等 (◇: かい離がプラス ◆かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと	◇ 相手の話を踏まえて話す問題の正答率が81.7%、話の展開に注意して聞く問題の正答率が83.3%であり、いずれも全国平均を2.5ポイント上回っている。 [1一, 1二]
書くこと	◇ 効果的に伝わるように、相手に応じて内容や表現の仕方を工夫して書く問題の正答率が84.2%であり、全国平均を1.7ポイント上回っている。[2二] ◇ これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く問題の正答率が20.6%であり、全国平均を0.9ポイント上回っている。 [1三]
読むこと	◇ 文脈の中における語句の意味を捉え、「被写体」を言い換えている言葉を本文中から抜き出す問題の正答率は86.8%であり、全国平均を2.5ポイント上回っている。[2一] ◇ 物語に描かれている季節を選択する問題の正答率は37.5%であり、全国平均を3.3ポイント上回っている。[3二]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			宮城県 (公立)		全国 (公立)		正答率 の かい離	無解答率 の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)		
1一	対談での発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	○				○			81.7	0.2	79.2	0.4	2.5	-0.2
1二	対談の展開を整理したものとして適切なものを選択する	○				○			83.3	0.3	80.8	0.4	2.5	-0.1
1三	これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く	○	○					○	20.6	11.4	19.7	13.9	0.9	-2.5
2一	「被写体」を言い換えている言葉を本文中から抜き出す			○			○		86.8	3.7	84.3	4.9	2.5	-1.2
2二	祖母向けの説明書の工夫として適切なものを選択する		○			○			84.2	0.3	82.5	0.5	1.7	-0.2
2三	祖母向けの説明書の一部を書く		○	○				○	69.8	6.9	68.4	8.1	1.4	-1.2
3一	物語について説明したものとして適切なものを選択する			○		○			64.2	0.5	61.6	0.8	2.6	-0.3
3二	物語に描かれている季節を選択する			○		○			37.5	0.4	34.2	0.7	3.3	-0.3
3三	朗読の仕方の工夫とその理由を書く		○	○				○	61.6	11.3	58.9	13.6	2.7	-2.3

8 中学校数学A問題

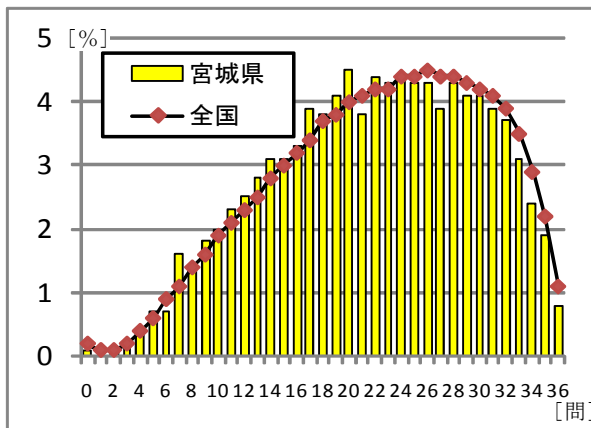
(1) 結果の概要

- 平均正答率は60.8%であり、全国平均を1.3ポイント下回っている。全国平均とのかい離は、22年度よりさらに1.1ポイント大きくなり課題がある。
- 「数と式」の領域では、正負の数の減法の計算や比例式を解く技能に、「図形」の領域では、体積の求め方や三角形の合同条件の理解に、「数量関係」の領域では、資料を読み取ることや座標平面上に点を示すことに、それぞれ課題が見られる。

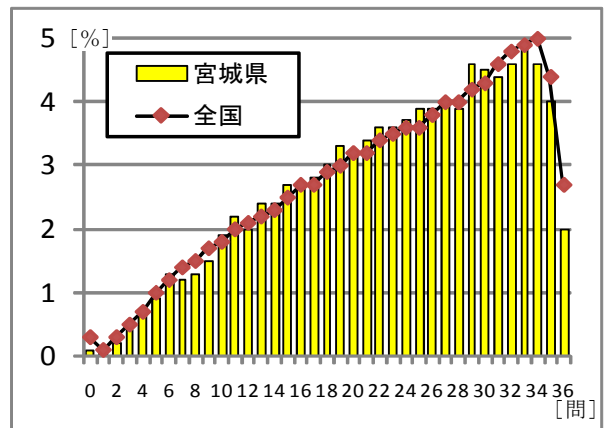
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布状況は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 24年度は、25問（70%程度）以上正答した生徒の割合が全国と比べやや低い状況となっている。

【平成24年度正答数度数分布グラフ】



【平成22年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 全ての領域で全国平均を下回っている。特に「数と式」と「数量関係」の領域では、全国とのかい離が大きくなり、課題が見られる。

領域	数と式					図形					数量関係					合計				
	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	66.1	74.7	66.0	65.4	72.4	66.2	63.8	64.8	61.6	73.7	50.3	54.6	55.7	57.3	64.4	60.8	64.4	62.1	61.4	70.3
全国平均正答率(%)	67.5	75.2	67.3	68.0	74.4	66.7	64.3	64.6	62.7	75.5	52.1	54.3	56.2	58.6	65.9	62.1	64.6	62.7	63.1	71.9
全国との比較	-1.4	-0.5	-1.3	-2.6	-2.0	-0.5	-0.5	0.2	-1.1	-1.8	-1.8	0.3	-0.5	-1.3	-1.5	-1.3	-0.2	-0.6	-1.7	-1.6

(4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等 (◇ : かい離がプラス ◆ かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

数と式

- ◆ 正の数と負の数の減法を計算する問題の正答率は84.4%であり、全国平均を4.1ポイント下回っている。[1(2)]
- ◆ 簡単な比例式を解く問題の正答率は57.4%であり、全国平均を4.4ポイント下回っている。[3(1)]

図形

- ◆ 正四角錐の体積の求め方の理解についての問題の正答率は57.0%であり、全国平均を3.8ポイント下回っている。[5(4)]
- ◆ 三角形の合同条件の理解についての問題の正答率は61.7%であり、全国平均を5.1ポイント下回っている。[6(3)]

数量関係

- ◇ 確率における「同様に確からしい」の意味の理解についての問題の正答率は68.8%であり、全国平均を4.2ポイント上回っている。[14(1)]
- ◆ 座標平面上に点の位置を示す問題の正答率は56.8%であり、全国平均を4.2ポイント下回っている。[11(1)]
- ◆ 資料を整理した図から最頻値を読み取る問題の正答率は35.0%であり、全国平均を7.4ポイント下回っている。[15(2)]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域			問題形式			宮城県(公立)		全国(公立)		正答率 かい離	無回答率 かい離
		数と式	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1(1)	8と12の最小公倍数を求める	○ ^{※1}				○		66.7	2.5	67.7	2.6	-1.0	-0.1
1(2)	$6 - (-7)$ を計算する	○				○		84.4	1.0	88.5	1.1	-4.1	-0.1
1(3)	数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る	○				○		68.4	0.9	66.4	1.2	2.0	-0.3
1(4)	天気予報の情報から、ある市の最高気温と最低気温の差を求める	○				○		70.6	1.5	73.5	1.8	-2.9	-0.3
2(1)	$(7x + 5y) - (5x + 2y)$ を計算する	○				○		74.5	1.6	77.6	1.8	-3.1	-0.2
2(2)	$x = 3$ のときの式 $-x^2$ の値を求める	○				○		65.2	6.5	66.3	6.0	-1.1	0.5
2(3)	整数 a を用いて、式 $2a$ で表すことのできる数を選ぶ	○				○		38.5	4.5	36.6	4.8	1.9	-0.3
2(4)	「1個 a 円の品物を2個買った代金は1000円より安い。」という数量の関係を表した式として正しいものを選ぶ	○				○		63.5	0.3	65.2	0.5	-1.7	-0.2
3(1)	比例式 $6 : 8 = x : 12$ を解く	○				○		57.4	6.4	61.8	5.8	-4.4	0.6
3(2)	連立方程式 $\begin{cases} a + b = 8 \\ 2a + b = 11 \end{cases}$ を解く	○				○		78.2	6.5	80.5	6.4	-2.3	0.1
3(3)	一次方程式を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	○				○		79.5	0.3	78.5	0.6	1.0	-0.3
3(4)	方程式の解が問題の答えとして適切なものであるかどうかを調べることにについて、正しい記述を選ぶ	○				○		46.4	1.0	47.8	1.2	-1.4	-0.2
4(1)	与えられた方法で作図された直線がもつ性質として、正しい記述を選ぶ		○			○		56.1	0.7	56.3	0.9	-0.2	-0.2
4(2)	三角形を、直線を軸として対称移動した図形をかく		○			○		80.8	2.6	81.3	2.7	-0.5	-0.1
4(3)	中心角 120° の扇形の面積について正しいものを選ぶ		○			○		69.9	0.7	69.0	0.9	0.9	-0.2
5(1)	直方体の辺と面上の線分との位置関係について、正しい記述を選ぶ		○			○		60.4	0.4	60.9	0.6	-0.5	-0.2
5(2)	1回転させると円柱ができる平面図形として正しいものを選ぶ		○			○		86.2	0.2	86.9	0.5	-0.7	-0.3
5(3)	三角柱の展開図として正しいものを選ぶ		○			○		93.4	0.3	92.8	0.5	0.6	-0.2
5(4)	正四角錐の体積を求める式として正しいものを選ぶ		○			○		57.0	0.5	60.8	0.7	-3.8	-0.2
6(1)	三角定規による平行線の作図について、正しい記述を選ぶ		○			○		42.0	0.7	43.6	1.0	-1.6	-0.3
6(2)	n 角形の内角の和を求める式で、 $(n - 2)$ が表すものを選ぶ		○			○		46.6	0.5	45.7	0.8	0.9	-0.3
6(3)	与えられた三角形と合同な三角形を選ぶ		○			○		61.7	0.5	66.8	0.7	-5.1	-0.2
7	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する		○			○		73.5	6.2	72.4	7.0	1.1	-0.8
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ		○			○		66.4	0.8	64.4	1.0	2.0	-0.2
9(1)	y が x に比例し、比例定数が3のとき、 x 、 y の値について、正しい記述を選ぶ			○		○		50.8	1.3	51.8	1.4	-1.0	-0.1
9(2)	$y = 2x$ 上の点を選ぶ			○		○		47.7	0.9	49.8	1.1	-2.1	-0.2
10(1)	反比例の表を完成する			○		○		46.0	3.1	48.8	3.4	-2.8	-0.3
10(2)	反比例のグラフを選ぶ			○		○		50.7	1.2	52.2	1.4	-1.5	-0.2
11(1)	$(-1, -4)$ の位置を座標平面上に示す			○		○		56.8	3.9	61.0	4.0	-4.2	-0.1
11(2)	一次関数のグラフから式を選ぶ			○		○		74.4	1.0	72.0	1.1	2.4	-0.1
12	一次関数を表した事象を選ぶ			○		○		34.9	1.7	37.9	1.8	-3.0	-0.1
13	二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ			○		○		37.0	2.2	38.8	2.2	-1.8	0.0
14(1)	1枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ			○		○		68.8	1.4	64.6	1.6	4.2	-0.2
14(2)	数字の書かれた3枚のカードから2枚のカードをひくとき、両方とも奇数のカードである確率を求める			○		○		54.1	6.9	57.4	6.9	-3.3	0.0
15(1)	度数分布表について、正しい記述を選ぶ			○ ^{※2}		○		46.9	2.8	48.7	2.6	-1.8	0.2
15(2)	フリースローでボールの入った回数と人数の関係をまとめた図から、ボールの入った回数の最頻値を求める			○ ^{※2}		○		35.0	20.3	42.4	16.9	-7.4	3.4

※1 小学校学習指導要領による。

※2 中学校学習指導要領(平成20年告示)においては、「資料の活用」の領域の内容となる。

9 中学校数学B問題

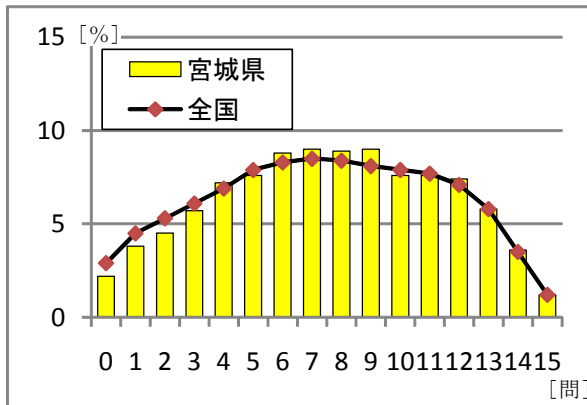
(1) 結果の概要

- 平均正答率は50.5%であり、全国平均を1.2ポイント上回っている。全国平均とのかい離は、22年度より、さらに0.5ポイント大きくなっている。
- 全ての領域で全国平均を上回っている。特に「図形」の領域では、全国平均を2.1ポイント上回る結果となっている。
- 記述式の問題にやや課題が見られるが、無回答率は全ての設問で全国平均を下回っている。

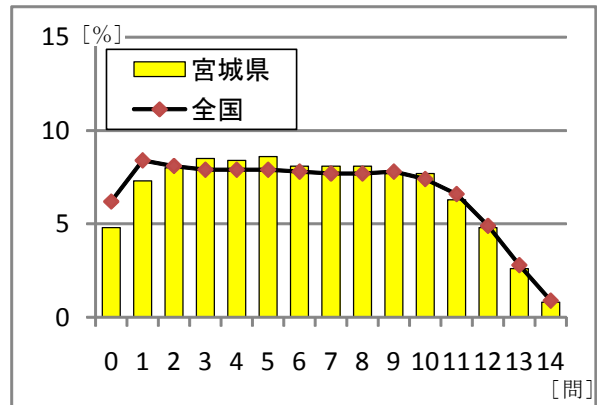
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布状況は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 24年度は、12問(80%)以上正答した生徒の割合が全国と比べやや高く、3問(20%)以下の生徒の割合はやや低くなっている。

【平成24年度正答数度数分布グラフ】



【平成22年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 22年度と同様に、全ての領域で全国平均を上回っている。「数と式」と「図形」の領域では、22年度の全国平均とのかい離より、さらに0.2ポイント、1.2ポイント大きくなっている。[%]

領域	数と式					図形					数量関係					合計				
	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	41.4	43.5	61.6	53.8	45.5	61.8	41.1	58.8	59.2	54.0	39.9	46.2	54.7	44.2	67.0	50.5	44.0	57.7	49.1	59.4
全国平均正答率(%)	40.9	43.2	61.4	54.2	48.2	59.7	40.2	57.5	57.6	53.1	39.8	45.5	54.1	44.7	67.9	49.3	43.3	56.9	49.2	60.6
全国との比較	0.5	0.3	0.2	-0.4	-2.7	2.1	0.9	1.3	1.6	0.9	0.1	0.7	0.6	-0.5	-0.9	1.2	0.7	0.8	-0.1	-1.2

(4) 設問別調査結果

○全国とのかい離が大きい設問等 (◇ : かい離がプラス ◆かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

数と式

- ◇ 表から必要な情報を適切に選択し、処理する問題の正答率は64.5%であり、全国平均を2.7ポイント上回っている。[1(1)]
- ◇ 連続する3つの自然数の和の性質を発展的に考え、予想した事柄を表現する問題の正答率は56.7%であり、全国平均を1.4ポイント上回っている。[2(2)]
- ◆ 連続する3つの自然数の和の性質が成り立つ理由を示された方針に基づいて説明する問題の正答率は34.7%であり、全国平均を1.6ポイント下回っている。[2(1)]

図形

- ◇ 多角形の外角の和が 360° であることを基に、正多角形の1つの外角の大きさを求める問題の正答率は80.7%であり、全国平均を3.5ポイント上回っている。[6(1)]
- ◇ 「木の高さの求め方」を振り返り、長さを置き換えてよいことの根拠となる図形の性質を指摘する問題の正答率は59.8%であり、全国平均を3.0ポイント上回っている。[5(2)]
- ◇ 複数の作図を総合的に捉え、作図に共通して利用されている性質を見いだす問題の正答率は59.2%であり、全国平均を2.7ポイント上回っている。[4(3)]

数量関係

- ◇ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題の正答率は47.8%であり、全国平均を1.7ポイント上回っている。[3(2)]
- ◆ 正多角形について、頂点の数と1つの外角の大きさの関係を数学的に解釈し、その関係が成り立つ理由を説明する問題の正答率は21.0%であり、全国平均を1.9ポイント下回っている。[6(3)]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域			問題形式			宮城県(公立)		全国(公立)		正 答 率 か い 離	無 回 答 率 か い 離
		数 と 式	図 形	数 量 関 係	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1(1)	ISSの高度を1cmとしたときの、ひまわり7号の高度を選ぶ	○			○			64.5	0.4	61.8	0.6	2.7	-0.2
1(2)	2つの人工衛星の軌道の長さの差を求める計算から分かることを選び、その理由を説明する	○					○	9.6	4.4	9.9	4.7	-0.3	-0.3
2(1)	連続する3つの自然数の和が3の倍数になることを説明する	○					○	34.7	23.8	36.3	24.1	-1.6	-0.3
2(2)	連続する3つの偶数の和について成り立つ事柄を表現する	○					○	56.7	24.2	55.3	24.9	1.4	-0.7
3(1)	原田選手と船木選手の飛んだ回数を求める			○ ^{*1}		○		73.3	4.4	72.8	5.2	0.5	-0.8
3(2)	次の1回でより遠くへ飛びそうな選手を選び、その理由を説明する			○ ^{*1}			○	47.8	4.8	46.1	4.9	1.7	-0.1
4(1)	線対称な図形を対称の軸で折り返したとき、対応する点を答える		○			○		91.1	4.2	89.0	5.3	2.1	-1.1
4(2)	2つの直線が垂直に交わることを、三角形の合同を利用して証明する		○				○	47.2	18.4	45.1	22.4	2.1	-4.0
4(3)	異なる場合での垂線の作図で、共通して利用されている図形の性質を選ぶ		○		○			59.2	1.1	56.5	1.5	2.7	-0.4
5(1)	CDが1.2m、DBが8.3mのときの、木の高さABを求める		○			○		72.0	11.3	70.4	11.5	1.6	-0.2
5(2)	長さを置き換えてよい根拠となる、長方形の性質を選ぶ		○		○			59.8	1.7	56.8	2.1	3.0	-0.4
5(3)	AEの長さを求められるようにするための方法を説明する		○				○	22.4	43.4	22.5	43.5	-0.1	-0.1
6(1)	正十二角形の1つの外角の大きさを求める		○			○		80.7	5.2	77.2	6.2	3.5	-1.0
6(2)	正多角形の頂点の数と正多角形の1つの外角の大きさの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する			○ ^{*2}		○		17.7	27.3	17.4	31.0	0.3	-3.7
6(3)	正多角形の頂点の数と正多角形の1つの外角の大きさの関係がどのような関数であるかを選び、その理由を説明する			○			○	21.0	7.9	22.9	8.3	-1.9	-0.4

※1 中学校学習指導要領(平成20年告示)においては、「資料の活用」の領域の内容となる。

※2 中学校学習指導要領(平成20年告示)においては、「関数」の領域の内容となる。

10 中学校理科問題

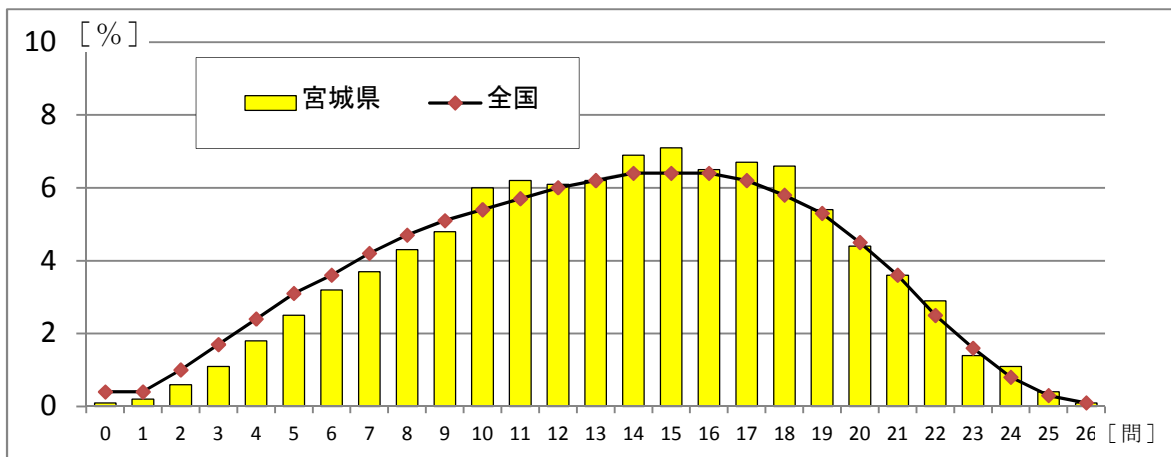
(1) 結果の概要

- 平均正答率は 52.7% であり，全国平均を 1.7 ポイント上回っている。
- 全ての領域で，平均正答率が全国平均を上回っている。
- 平均無回答率は，全 26 問中 21 問で全国平均を下回っている。

(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 10 問～19 問（40%～73% 程度）正答した児童の割合が全国平均を上回り，正答数が 9 問（35% 程度）以下の児童の割合が全国平均を下回っている。

【平成 24 年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 主として「知識」に関する問題の平均正答率が 58.1% で，全国平均を 2.0 ポイント上回っている。
- 主として「活用」に関する問題の平均正答率が 49.4% で，全国平均を 1.6 ポイント上回っている。
- 物理的領域の平均正答率が 48.1% で 2.2 ポイント，化学的領域の平均正答率が 59.6% で 2.7 ポイント，生物的領域の平均正答率が 51.2% で 0.5 ポイント，地学的領域の平均正答率が 53.6% で 1.6 ポイント全国平均を上回っている。

[%]

	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域	合計
県平均正答率 (%)	58.1	49.4	48.1	59.6	51.2	53.6	52.7
全国平均正答率 (%)	56.1	47.8	45.9	56.9	50.7	52.0	51.0
全国との比較	2.0	1.6	2.2	2.7	0.5	1.6	1.7

(4) 設問別調査結果

○全国とのかい離が大きい設問等 (◇ : かい離がプラス ◆かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

物理的領域

- ◇ 白熱電球を LED 電球に交換するとき，消費する電力量を減らすために最も効果がある場所を選び，その理由を説明する問題の正答率は 63.6% で，全国平均を 5.0 ポイント上回っている。[2(5)]
- ◇ 白熱電球と LED 電球で，省エネの効果と比較する実験を考えるときに，必要な条件を選ぶ問題の正答率は 76.4% で，全国平均を 4.1 ポイント上回っている。[2(4)]
- ◆ 実験結果から，食塩水の中で卵にはたらく浮力の大きさを求める式を書き，浮力の大きさを求める問題の正答率は 35.0% で，全国平均を 1.2 ポイント下回っている。[4(3)]

化学的領域

- ◇ 液体のようす（上部が水，下部が食塩水）を，食塩の粒子のモデルで表したものを選ぶ問題の正答率は 71.7% で，全国平均を 3.3 ポイント上回っている。[4(5)]
- ◇ 実験で，古い卵が浮いたときの気室の位置と，卵のとがっている部分の位置を選ぶ問題の正答率は 64.6% で，全国平均を 3.2 ポイント上回っている。[4(2)]

生物的領域

- ◇ 水草の動きの名称と発生する気体の名称を答える問題の正答率は 58.5% で，全国平均を 3.6 ポイント上回っている。[1(1)]
- ◆ 「チューリップの花が開くには，温度が関係している」という考察の根拠となる実験結果の組合せを選ぶ問題の正答率は 39.1% で，全国平均を 2.2 ポイント下回っている。[1(5)]
- ◆ 両生類であるカエルの特徴や成長に応じて飼育の環境を整えた理由を説明する問題の正答率は 36.4% で，全国平均を 1.0 ポイント下回っている。[1(2)]

地学的領域

- ◇ 「うすい塩酸をかけ，発生する気体を確かめる」という石灰岩を見分ける技能において，そのとき発生する気体の名称を答える問題の正答率は 77.0% で，全国平均を 3.6 ポイント上回っている。[3(6)]
- ◆ 地層観察の結果から，過去の火山活動が活発だった時期の回数についての他者の考察を検討し，適切な回数を選び，その根拠を説明する問題の正答率は 9.9% で，全国平均を 0.5 ポイント下回っている。[3(3)]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			宮城県(公立)		全国(公立)		正答率の かい離	無正答率の かい離
		物理的 領域	化学的 領域	生物的 領域	地学的 領域	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解 答率 (%)	正答率 (%)	無解 答率 (%)		
1 (1)	水草の働きと発生する気体の名称を答える			○		○		58.5	9.6	54.9	10.4	3.6	-0.8	
1 (2)	両生類であるカエルの特徴や成長に応じて飼育の環境を整えた理由を説明する			○			○	36.4	10.8	37.4	11.6	-1.0	-0.8	
1 (3)	成長して種子になる部分の名称を選ぶ			○	○			72.3	0.2	70.9	0.4	1.4	-0.2	
1 (4)	示された花の模式図にならって、アブラナの花のつくりを表した模式図を選ぶ			○	○			66.1	0.3	66.0	0.5	0.1	-0.2	
1 (5)	「チューリップの花が開くには、温度が関係している」という考察の根拠となる実験結果の組合せを選ぶ			○	○			39.1	0.3	41.3	0.6	-2.2	-0.3	
1 (6)	チューリップの花が開く温度を明らかにするための追実験を計画するに当たって、実験結果の考察から設定する温度を答える			○		○		34.9	7.7	33.9	8.3	1.0	-0.6	
2 (1)	電圧が1.2Vのときの電流計の図から、電流の大きさを読みとり答える	○					○	45.3	6.1	44.3	7.7	1.0	-1.6	
2 (2)	1つの回路で、2つの実験と同じ結果を得るための測定方法を説明する	○					○	8.4	18.0	7.6	19.6	0.8	-1.6	
2 (3) X	2つの実験結果から、電圧2.0Vのときの、豆電球と発光ダイオードの消費する電力を比較して答える	○					○	56.5	9.7	53.7	11.5	2.8	-1.8	
2 (3) Y	2つの実験における豆電球と発光ダイオードの消費する電力から、自然電球とLED電球の省エネの効果を考察し、LED電球の省エネの効果を答える	○					○	86.5	8.4	83.9	10.4	2.6	-2.0	
2 (4)	自然電球とLED電球で、省エネの効果を比較する実験を考えると、必要な条件を選ぶ	○				○		76.4	0.5	72.3	1.0	4.1	-0.5	
2 (5)	自然電球をLED電球に交換するときに、消費する電力量を減らすために最も効果がある場所を選び、その理由を説明する	○					○	63.6	2.8	58.6	3.5	5.0	-0.7	
2 (6)	自然電球とLED電球を、それぞれ1時間使用する場合に、消費する電力量の差を求める式を書き、電力量の差を求める	○					○	13.3	39.8	11.1	41.1	2.2	-1.3	
3 (1)	野外観察で、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるための技能において、着目する事象と観察の観点を選ぶ				○	○		88.4	0.3	86.9	0.7	1.5	-0.4	
3 (2)	地層観察の結果から、観察地における地層のつながり方を考察し、地層の傾いている方向を選ぶ				○	○		31.6	0.9	31.2	1.3	0.4	-0.4	
3 (3)	地層観察の結果から、過去の火山活動が活発だった時期の回数についての他者の考察を検討し、適切な回数を選び、その根拠を説明する				○		○	9.9	6.0	10.4	6.0	-0.5	0.0	
3 (4)	ローム層の厚さと偏西風の影響の情報から、火山、観察地、中学校の位置関係を適切に示した模式図を選ぶ				○	○		50.2	1.7	48.3	2.2	1.9	-0.5	
3 (5)	アサリの化石が含まれる地層が堆積した当時の生活環境を選ぶ				○	○		64.5	0.7	61.9	1.1	2.6	-0.4	
3 (6)	「うすい塩酸をかけ、発生する気体を確かめる」という石灰岩を見分ける技能において、そのとき発生する気体の名称を答える				○		○	77.0	8.7	73.4	10.2	3.6	-1.5	
4 (1)	濃度10%の食塩水1000gをつくるために必要な食塩と水の質量を求める		○				○	51.8	18.3	49.8	18.8	2.0	-0.5	
4 (2)	実験で、古い卵が浮いたときの気室の位置と、卵の上がっている部分の位置を選ぶ		○				○	64.6	1.4	61.4	1.8	3.2	-0.4	
4 (3)	実験結果から、食塩水の中で卵にはたらく浮力の大きさを求める式を書き、浮力の大きさを求める	○					○	35.0	42.8	36.2	40.2	-1.2	2.6	
4 (4)	食塩水がいくらでも濃くできるわけではない理由を説明する		○				○	49.1	25.3	46.6	26.9	2.5	-1.6	
4 (5) 和宏さん	食塩水のように、食塩の粒子のモデルで表したものを選ぶ		○				○	74.6	2.5	71.6	2.5	3.0	0.0	
4 (5) 望さん	液体のように(上部が水、下部が食塩水)を、食塩の粒子のモデルで表したものを選ぶ		○				○	71.7	2.8	68.4	2.7	3.3	0.1	
4 (6)	二人の考えのどちらが正しいかを調べる実験の方法と、その実験を行ったとき、得られる実験結果として、正しいものを選ぶ		○				○	45.4	3.5	43.7	3.2	1.7	0.3	

Ⅲ 類似問題の経年比較

(1) 中学校国語

A [3]ー 比喩という言葉と結びつけて、表現の仕方を理解すること。

平成21年度小学校調査での正答率は57.0%であったが、今年度調査では87.0%であった。

21年度との比較では、全国平均の27.2ポイント増に対して県平均は30ポイント増であり、全国平均を上回る結果となった。

表現の仕方に注意して読むことは、登場人物の心情や情景などを豊かに捉えることにつながり、文章内容を理解する上で有効である。

比喩を手がかりにしながら描写されている2つの情景の対応関係を捉えることについては、正答率も87.0%に至っていることから、かなり改善が進んだと考えている。

<p>H21小A [5]</p> <p>【表現の工夫】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 美奈と友達との関係が分かるように、それぞれの性格や考えを書いていく。 2 美奈が体験したことを、ほかの登場人物に対して語りかけるように書いていく。 3 美奈が取り組んだお菓子づくりのとき、つくった順序のとおりに書いていく。 4 美奈がお菓子を つくるたびに失敗してしまっ様子を、たとえを使って書いている。 <p>〔柏葉幸子『大おはさんの不思議なレシピ』による〕</p>	<p>H24中A [3]ー</p> <p>この村の月は、まるでよく熟した栗ミカンだ。に使われている表現の技法をなと言いますか。三字以内で書きなさい。</p> <p>次は、「栗い」が見ている情景を、栗の情景と対応させて整理したものです。□に当てはまる言葉を本文中から探し、抜き出しなさい。</p>
<p>(全国) 58.7%</p> <p>(県) 57.0%</p>	<p>(全国) 85.9%</p> <p>(県) 87.0%</p>

A [7]ー五 はがきの書き方を理解して書くことができる。

平成21年度小学校調査での正答率は65.4%であったが、今年度調査では71.5%であった。

21年度との比較では、全国平均の6.7ポイント増に対して、県平均は6.1ポイント増であることから、実用的な文章を書く力に少々課題があると捉えている。

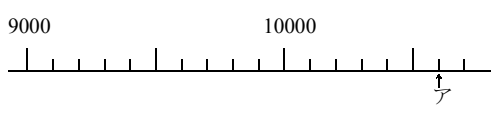
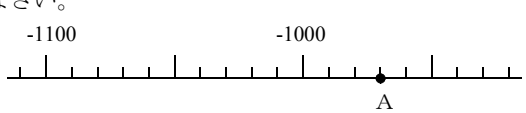
様々な相手や目的に応じて、依頼状や案内状、礼状等、実際に手紙を書く言語活動を設定し、指導事項を指導したり、実際にはがきを投函することを含めた学習活動を設定したりすることが重要である。

社会生活の中でも手紙を書く機会が多い。往復はがきの書き方なども機会を捉えて指導する必要がある。

<p>H21小A [3]</p>	<p>H24中A [7]ー五</p> <p>次の「自分の名前と住所」と「相手の名前と住所」をはがきの書き方に当てはめて書きなさい。</p>
<p>小林さんは、転校していった友達にはがきを書くことにしました。はがきの表に名前や住所を書きます。次の「アイウエ」の中に入るかわいしいものを、下の1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。</p>	<p>自分の名前と住所 相手の名前と住所</p>
<p>(全国) 67.0%</p> <p>(県) 65.4%</p>	<p>(全国) 73.7%</p> <p>(県) 71.5%</p>

(2) 中学校数学

A1 (3) 数直線上の点が表示する負の整数の値を読み取る。

<p>H21 小学校 算数A 2 (1)</p> <p>次の数直線アの目盛りが表示する数を書きましょう。</p>  <p>(全国) 64.1% (県) 61.9%</p>	<p>H24 中学校 数学A 1 (3)</p> <p>下の図は数直線の一部です。点Aが表示する数を答えなさい。</p>  <p>(全国) 66.4% (県) 68.4%</p>
--	---

平成21年度小学校調査では、数の範囲が自然数の場合と同様の問題が出題された。一目盛りの大きさを誤った解答が31.0%あった。

平成24年度中学校調査では、同様の誤りをした生徒は12.7%あった。単純な比較はできないが、数の範囲が負の数に拡張されている中で同様の誤りの割合が減ったことは、数直線の一目盛りの大きさを正しく捉えることが一定程度できるようになったと考えられる。

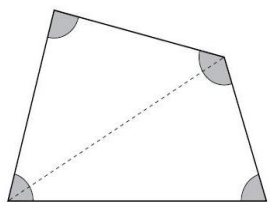
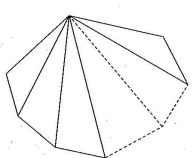
A2 (3) 整数aを用いて、式2aで表すことのできる数を選ぶ。

<p>H21 小学校 算数A 2 (4)</p> <p>次の数の中から偶数をすべて選んで、書きましよう。</p> <p>0, 1, 35, 78, 100</p> <p>(全国) 77.4% (県) 71.4%</p>	<p>H24 中学校 数学A 2 (3)</p> <p>aを整数とすると、式2aで表すことのできる数を、次の中からすべて選びなさい。</p> <p>0 1 35 78 100</p> <p>(全国) 36.6% (県) 38.5%</p>
---	---

平成21年度小学校調査では、「0」を偶数と捉えず「78」と「100」だけを選択した解答が12.1%あった。また、「1」と「35」を選択した解答が2.4%あり、偶数と奇数の意味理解に課題が見られる。

平成24年度調査では、「78」と「100」だけを選択した解答が23.5%あった。「0」が偶数であると理解していても、aに代入する整数に0が含まれることを理解していない生徒、2aで「0」は表すことができないと捉えている生徒がいると考えられる。また、「1」と「35」の両方、もしくはどちらか一方を選択した解答が3.3%あったことから、偶数と奇数の意味理解が曖昧な生徒がまだいると考えられる。

A6 (2) n角形の内角の和を求める式で、(n-2)が表すものを選ぶ。

<p>H21 小学校 算数A 5 (1)</p> <p>(1) 下の図のように、四角形を2つの三角形に分けて、四角形の4つの角の大きさの和を求めます。</p> <p>三角形の3つの角の大きさの和が180°であることを使って、四角形の4つの角の大きさの和を求める式を書きましょう。</p> <p>ただし、計算の答えを書く必要はありません。</p>  <p>(全国) 67.9% (県) 69.0%</p>	<p>H24 中学校 数学A 6 (2)</p> <p>(2) 下の図のように、n角形は1つの頂点からひいた対角線によって、いくつかの三角形に分けられます。</p>  <p>このことから、n角形の内角の和は$180 \times (n-2)$で表すことができます。</p> <p>この式の(n-2)は、n角形において何を表していますか。下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。</p> <p>ア 頂点の数 イ 辺の数 ウ 内角の数 エ 1つの頂点からひいた対角線の数 オ 1つの頂点からひいた対角線によって分けられた三角形の数</p> <p>(全国) 45.7% (県) 46.6%</p>
--	--

平成24年度中学校調査では、nが表している頂点の数、辺の数、内角の数を選択した解答が45.5%あった。問われていることを的確に捉えることや多角形の内角の和を求める公式は覚えていても、その式の意味を理解することに課題があると考えられる。また、(n-2)を一つの数量として捉えることにも課題があると考えられる。さらに、平成21年度小学校調査の正答率が69.0%であることを考えると、四角形の内角の和を求めた方法をn角形の場合に結び付けて考えることができない生徒がいると考えられる。なお、平成20年度中学校調査でも同一の問題が出題されているが、頂点の数、辺の数、内角の数を選択した解答は44.6%であり、同様の傾向が見られている。

IV 児童生徒質問紙調査結果

※表の下段は全国との比較

1 結果の概要

- 小・中学生ともに、早寝・早起き・朝ご飯や規則正しく生活することなど基本的な生活習慣に関する質問に対しては全国値に比べて肯定的な回答が多い。長時間テレビを見ている子どもの割合は全国値よりも高い。
- 小・中学生ともに、家庭で予習・復習をしている割合は全国値よりも高い。家庭における学習時間については、小学生が1時間以上、中学生が2時間以上学習する割合は、小学生は22年度より下がったが、全国値よりも高く、中学生は22年度より上がったが、全国値よりも低い。

2 質問事項別の状況

(1) 学習に対する関心・意欲・態度

- 「授業の内容がよく分かるか」という質問に対して肯定的に答えている小・中学生の割合は、中学生の数学のみ全国値を下回ったが、他は全て全国値を上回っている。
- 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている小・中学生の割合は小・中学生ともに全国値を上回っている。
- 算数・数学の問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える小・中学生の割合は、全国値より低い。また、言葉や式で訳や求め方を書く問題に最後まで書く努力をした小・中学生の割合も全国値を下回り、算数・数学に対してやや消極的な傾向が見られる。
- 科学や自然について疑問を持ち、その疑問について人に質問したり、調べたりすることがある小・中学生の割合は、全国値を上回っている。

	質問事項	小学校 (%)					中学校 (%)				
		H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
1	国語の授業の内容はよく分かりますか	83.7 +0.6	82.3 +0.0	80.1 +0.1	77.6 -0.4	78.7 +0.7	74.7 +3.5	71.5 +1.6	70.1 +1.3	69.6 +2.8	67.5 +2.1
2	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	79.5 +0.4	78.0 +0.8	80.2 +1.0	79.2 +0.8	77.9 +0.8	64.1 -0.8	64.8 -0.9	62.4 -2.5	64.5 -1.0	61.5 -2.1
3	理科の授業の内容はよく分かりますか	86.2 +0.2					66.5 +2.4				
4	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。	72.0 +0.7	72.8 +3.6	66.7 +0.5	67.2 +0.1		63.3 +3.9	62.1 +4.4	58.6 +3.5	61.4 +5.9	
5	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	74.9 -0.2	74.9 +1.5	70.6 -0.2	71.7 -0.2		68.5 +2.9	66.7 +3.0	63.3 +2.6	65.6 +4.1	
6	算数・数学の問題の解き方が分からないときはあきらめずにいろいろな方法を考えますか。	78.1 -1.0	77.4 +0.1	77.6 +0.8	76.2 +0.2	75.0 +0.3	65.7 -0.3	68.7 +1.6	64.9 +0.1	64.7 +1.1	63.6 +0.6
7	言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題についてどのように解答しましたか（最後まで書く努力をした）	70.8 -1.6	60.5 -1.5	66.4 -1.6	65.9 -1.1		45.8 -0.1	45.6 +0.1	48.4 +0.4	42.2 -0.5	
8	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	88.2 +2.5					74.2 +4.0				
9	科学や自然について疑問を持ち、その疑問について人に質問したり、調べたりすることがありますか	64.5 +1.5					50.0 +4.0				

(2) 基本的な生活習慣、家庭でのコミュニケーション

- 就寝時刻、起床時刻を守り、規則正しい生活を行っている小・中学生の割合が増加している。
- 朝食を毎日食べる小・中学生の割合は22年度同様全国値よりも高い。

	質問事項	小学校 (%)					中学校 (%)				
		H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
1	普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか (小：午後10時前 中：午後11時前)	53.5 +7.5	49.6 +5.8	51.1 +7.8	48.4 +7.0	49.4 +7.3	37.3 +3.4	35.5 +3.1	34.3 +2.5	32.4 +3.0	33.8 +4.0
2	普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか (午前6時30分より前)	43.3 +4.4	39.8 +3.0	39.8 +3.5	38.0 +2.5	37.9 +3.5	35.2 -2.3	30.6 -3.7	29.9 -3.4	29.2 -3.5	29.2 -2.5
3	朝食を毎日食べていますか	96.6 +0.5	97.4 +1.0	96.6 +0.6	96.3 +0.9	96.2 +1.0	94.4 +0.8	94.5 +1.2	94.0 +1.6	93.6 +1.7	93.3 +1.7
4	家の人と学校での出来事について話をしていますか	77.6 +1.7	77.0 +2.8	71.0 +0.1	70.9 +1.7	70.0 +1.6	66.7 +1.0	65.1 +1.4	61.1 +1.3	60.0 +2.1	60.0 +2.2

5	家の手伝いをしていますか	84.0 +3.3	83.8 +3.6	82.0 +3.5	81.0 +3.5	81.1 +2.7	71.1 +5.1	69.7 +4.9	68.3 +5.3	65.9 +5.3	67.9 +4.6
6	今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.2 +10.0	74.4 +12.8	73.0 +10.6	71.6 +11.7	72.6 +10.6	37.9 +0.2	39.5 +5.2	40.9 +3.1	39.8 +2.8	39.7 +2.2

(3) 学習時間等

- 家で自分で計画を立てて、予習・復習をしている小・中学生の割合は、22年度同様全国値よりも高い。
- 家庭で1時間以上学習すると答えた小学生の割合は全国値を上回ったが、2時間以上の学習になると、小・中学生ともに全国値を下回っている。
- テレビやビデオ・DVDを3時間以上見たり、聞いたりする小・中学生の割合は、依然として全国値よりも高くその傾向は小学生で顕著である。

	質問事項	小学校 (%)					中学校 (%)					
		H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19	
1	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	61.1 +3.1	64.7 +6.4	55.5 +0.8	51.5 -0.5		45.6 +2.7	44.3 +2.5	40.1 +2.2	35.8 +1.6		
2	家で学校の授業の予習をしていますか	45.6 +5.1	48.6 +8.2	42.6 +5.1	39.1 +3.7	36.6 +3.7	39.3 +10.0	43.9 +13.0	42.1 +12.6	41.0 +12.6	39.3 +9.8	
3	家で学校の授業の復習をしていますか	59.9 +9.7	61.2 +11.6	54.9 +8.9	50.8 +7.4	45.8 +5.7	56.8 +11.3	54.4 +10.9	49.7 +9.2	48.4 +8.8	45.8 +6.6	
4	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか	30分以上	89.1 +3.5	88.7 +3.9	86.1 +2.5	83.5 +1.1	83.5 -0.4	84.7 +1.4	83.1 +0.0	81.7 -0.2	81.4 -0.7	78.6 -2.6
		1時間以上	61.2 +1.7	61.5 +3.3	56.9 -0.3	52.9 -3.2	53.8 -4.1	65.8 -0.6	63.7 -2.5	62.2 -3.1	63.1 -2.3	59.9 -5.1
		2時間以上	21.3 -4.3	20.8 -4.9	19.7 -6.0	18.8 -6.7	18.3 -7.2	30.0 -5.3	28.5 -7.2	29.1 -6.6	29.8 -5.9	27.4 -8.0
		3時間以上	7.0 -4.1	6.8 -4.6	17.9 -4.9	16.3 -6.4	15.4 -7.6	6.6 -3.3	6.3 -3.9	13.5 -1.9	13.6 -1.5	11.8 -3.1
5	普段1日にどれくらいの時間テレビやビデオ・DVDを見ますか(3時間以上)	47.8 +5.1	47.2 +3.9	51.1 +5.4	51.7 +5.6	38.0 +3.7	33.3 +0.8	38.1 +1.6	40.4 +2.4	43.0 +3.4	35.9 +2.8	
6	普段1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか(3時間以上)	13.7 +1.1	12.6 +1.3	13.0 +1.4	14.0 +2.1	9.8 +0.9	10.5 -0.9	10.2 -0.6	10.5 +0.1	10.4 -0.1	10.5 -0.2	

(4) 自尊意識・規範意識

- 「自分にはよいところがある」と答えた小・中学生の割合は、依然として全国値よりも低いですが、小学生は着実に増加傾向にある。
- 「将来の夢や目標を持っている」と答えた小・中学生の割合は、小学生は全国値よりも低く、中学生は全国値よりも高い。
- 規範意識に関する質問に対し肯定的な解答をした小・中学生の割合は、小学生は全国値に並ぶが、中学生はわずかに全国値を下回っている。

	質問事項	小学校 (%)					中学校 (%)				
		H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
1	自分には、よいところがあると思う	76.4 -0.4	73.6 -0.8	72.9 -1.7	71.4 -2.0	68.6 -2.9	67.7 -0.5	63.8 +0.7	61.6 +0.4	61.8 +1.0	59.8 -0.7
2	ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか	94.8 +0.3	94.5 +0.4	93.8 +0.0	93.2 -0.3	93.2 +0.1	93.4 +0.2	93.6 +0.9	92.9 +1.0	92.9 +1.0	92.4 +0.4
3	将来の夢や目標を持っていますか	86.5 -0.2	86.5 -0.3	85.6 -0.7	84.0 -0.7	83.6 -0.1	73.8 +0.6	72.6 +0.9	71.3 +0.3	72.0 +1.3	72.2 +1.5
4	学校のきまり(規則)を守っていますか	91.2 -0.1	89.4 +0.2	87.6 -0.9	85.7 -0.6	85.2 -1.0	91.2 -1.1	90.5 +0.4	89.3 +0.7	88.0 +0.6	86.0 +0.3
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	95.3 -0.1	94.3 -0.7	95.1 +0.2	95.0 +0.3	94.7 +0.0	92.9 -0.1	90.8 -0.3	90.7 +0.4	89.8 +0.3	87.8 -0.1
6	人の役に立つ人間になりたいと思う	94.7 +0.0	92.5 -0.9	91.8 -0.7	92.0 -0.4	91.4 -0.5	93.7 -0.2	91.5 -0.6	90.4 +0.0	90.6 +0.1	89.4 -0.2

V 学校質問紙調査結果

※ 表の下段は全国との比較

1 結果の概要

- 問題冊子等や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導や学校全体での教育活動の改善のために活用している学校の割合は、小学校は全国値よりも高く、中学校は全国値よりも低い。
- 国語の指導として、書く習慣や読む習慣を付ける指導に取り組んでいる学校の割合は、小・中学校ともに、全国値よりも高い。
- 児童生徒の発言や活動の時間を確保した授業や、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしている学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも高い。
- テーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも低い。

2 質問事項別の状況

(1) 学力・学習状況調査の活用

- 問題冊子等や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導や学校全体での教育活動の改善のために活用している学校の割合は、小学校は全国値よりも高く、中学校は全国値よりも低い。

質問事項	小学校 (%)					中学校 (%)				
	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
1 問題冊子等や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善等を行ったか。	87.2 +1.7	100.0 +0.1	93.0 +1.3	89.0 -5.8		76.6 -3.2	94.2 +3.1	93.2 +3.2	94.1 +8.1	
2 問題冊子等や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用したか。	82.0 +0.8	100.0 +0.1	97.3 +4.4	94.8 +4.0		73.0 -1.1	89.1 +7.6	89.1 +10.4	89.1 +17.7	

(2) 指導方法・学習規律

- 国語の指導として、書く習慣や様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも高い。
- 算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも低い。
- 理科の指導として、児童生徒が科学的な体験や自然体験をする授業を行った学校の割合は、小学校は全国値より低く、中学校は全国値より高い。
- 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進める学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも高い。
- 児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも高い。

質問事項	小学校 (%)					中学校 (%)				
	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
1 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったか	94.0 +4.2	91.6 +2.2	88.3 -0.8	90.1 +2.7	82.2 -1.2	94.9 +3.3	94.2 +3.1	95.0 +4.1	89.5 -0.3	85.8 -1.9
2 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったか	89.5 +6.6	85.4 +2.4	85.5 +2.2	87.4 +4.5	82.6 +2.3	84.6 +0.7	84.9 +0.2	85.9 +3.2	81.4 -1.7	84.4 +2.3
3 算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったか	61.8 -1.3	61.7 -0.9	66.0 +4.1	63.5 +2.7	62.4 +2.3	54.1 -1.4	50.1 -1.5	52.3 +2.4	53.7 +3.9	46.2 -2.3
4 理科の指導として、児童生徒が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	80.6 -1.2					78.5 +4.5				
5 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしているか	94.8 -0.1	95.8 +1.4	94.6 -0.2	97.5 +3.3		95.4 +4.3	95.9 +5.7	92.3 +2.7	91.3 +2.5	
6 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めているか	98.6 +1.6	99.3 +2.1	96.4 -1.0	97.1 +0.2		96.3 +2.5	100.0 +7.7	95.9 +3.4	95.5 +4.9	
7 児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしているか	77.6 +6.3	72.3 +1.3	68.1 -1.4	62.1 -4.1		97.3 +2.0	94.1 -2.1	96.8 +0.9	95.9 +0.0	

(3) 個に応じた指導

- 算数・数学の指導において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行っている小・中学校の割合は、全国値よりも低く、22年度よりも減少している。
- 算数・数学の指導において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行っている小・中学校の割合は、全国値よりも低い。

質問事項	小学校 (%)					中学校 (%)				
	H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
1 算数・数学の指導において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導をしたか	33.7 -7.4	36.0 -3.4	37.4 -2.3	33.6 -6.9		28.1 -1.9	42.4 +8.7	37.3 +3.4	42.7 +6.0	
2 算数・数学の指導において、習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導をしたか	29.0 -4.2	29.0 -2.5	26.9 -5.3	27.5 -6.2		24.6 -0.8	38.0 +8.7	32.7 +3.1	39.6 +7.1	

(4) 学習環境づくりに向けた取組

- 放課後を利用した補充的な学習サポートを実施している学校の割合は、小学校は22年度よりも減少したものの全国値よりも高く、中学校は全国値よりも低い。
- 長期休業期間を利用した補充的なサポートを実施している学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも低い。
- 学校図書館を活用した授業を計画的に行っている学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも低い。

	質 問 事 項	小学校 (%)					中学校 (%)				
		H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
1	放課後を利用した補足的な学習サポートを実施したか	70.2	78.5	76.8	58.6	61.0	85.2	84.0	86.1	63.6	61.8
		+ 8.4	+ 16.5	+ 15.9	+ 16.7	+ 20.1	- 1.5	- 1.5	+ 3.0	+ 6.4	+ 6.4
2	長期休業期間を利用した補足的な学習サポートを実施したか	53.3	53.5	46.6	43.0	41.2	74.5	73.7	68.6	70.0	68.9
		- 10.1	- 5.1	- 10.4	- 7.0	- 6.6	- 9.6	- 6.7	- 11.6	- 7.0	- 6.1
3	「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けているか	98.7	99.3	98.7	95.0	93.2	94.1	94.1	93.2	89.5	88.9
		+ 0.6	+ 1.3	+ 0.8	+ 1.8	+ 1.2	+ 1.2	+ 2.1	+ 1.8	+ 3.1	+ 4.3
4	学校図書館を活用した授業を計画的に行っているか	75.4	77.8	72.6	63.5	56.4	30.7	41.6	41.3	28.6	36.0
		- 1.8	- 1.0	- 5.2	- 3.8	- 3.5	- 13.2	- 4.8	- 6.3	- 11.1	- 2.3

(5) 家庭学習・家庭との連携

- 国語、算数・数学の指導として、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行っている学校の割合が、小学校は全国値よりも高く、中学校は国語は全国値よりも低く、数学は全国値よりも高い。
- 国語、算数・数学、理科の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えている割合は、小・中学校ともに算数・数学は全国値よりも高いが、他の教科は全国値よりも低い。
- 国語、算数・数学、理科の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っている学校の割合は、小学校の算数以外は小・中学校ともに全国値より低い。

	質 問 事 項	小学校 (%)					中学校 (%)				
		H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
1	国語の指導として、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行っているか	97.0	96.6	97.3	97.3		70.7	78.0	75.9	67.3	
		+ 2.1	+ 2.4	+ 4.3	+ 6.7		- 0.3	+ 7.4	+ 6.1	+ 0.7	
2	算数・数学の指導として、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行っているか	96.2	95.9	97.1	96.8		70.1	78.9	73.6	71.4	
		+ 1.6	+ 2.2	+ 4.7	+ 6.4		+ 0.3	+ 7.5	+ 3.5	+ 4.5	
3	国語の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えているか	99.2	99.3	99.3	99.6	98.4	84.1	96.5	89.1	85.5	78.6
		- 0.1	+ 0.1	+ 0.3	+ 0.9	+ 1.3	- 4.7	+ 7.7	+ 2.1	- 1.0	- 5.4
4	算数・数学の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えているか	100.0	99.3	99.1	99.6	98.7	92.8	94.9	92.3	94.1	87.6
		+ 0.6	+ 0.1	+ 0.1	+ 0.8	+ 1.2	+ 0.6	+ 3.0	+ 1.8	+ 3.7	- 1.0
5	理科の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えているか	28.9					61.1				
		- 3.3					- 6.0				
6	国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っているか	95.5	100.0	96.4	98.0		95.6	90.7	94.5	94.5	
		- 1.5	+ 3.8	+ 0.8	+ 0.7		- 0.3	- 4.1	+ 0.9	+ 0.2	
7	算数・数学の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っているか	97.0	99.3	96.4	98.4		93.9	93.2	93.6	95.9	
		+ 0.2	+ 3.3	+ 1.2	+ 1.0		- 1.5	- 0.9	+ 0.7	+ 1.7	
8	理科の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っているか	71.5					92.1				
		- 10.3					- 1.0				

(6) 教員研修

- 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている学校の割合は、小学校で増加し、全国値を上回ったが、中学校では減少し、全国値を下回った。
- 講師を招聘するなどの校内研修を行っている学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも低く、かい離が大きい。
- 授業研究を伴う校内研修を行っている学校の割合は、小学校は全国値よりも高く、中学校は全国値よりも低い。

	質 問 事 項	小学校 (%)					中学校 (%)				
		H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
1	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っているか	97.0	92.3	91.2	90.7	88.5	81.5	91.4	88.7	88.2	84.5
		+ 2.4	- 2.1	- 2.5	- 2.0	- 2.8	- 3.8	+ 8.2	+ 6.2	+ 7.0	+ 6.0
2	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っているか	78.1	78.4	73.7	75.0	70.1	66.6	71.1	66.4	59.0	63.6
		- 13.9	- 13.8	- 18.2	- 17.1	- 20.9	- 17.3	- 11.3	- 16.2	- 23.9	- 19.5
3	授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施したか（9回以上）	50.5	56.1	50.0	50.5	44.5	28.9	33.0	30.5	24.0	22.7
		+ 4.2	+ 9.2	+ 6.4	+ 4.5	+ 0.0	- 1.4	+ 4.8	+ 4.4	- 3.0	- 2.9

(7) 地域の人材・施設の活用

- 地域の人材を外部講師として招聘した授業を行っている学校の割合は、小学校は減少して全国値を下回り、中学校は増加して全国値を上回った。
- 博物館や科学館、図書館を利用した授業を行っている学校の割合は、小学校は全国値よりも低く、中学校は増加して全国値を大きく上回った。
- 職場見学や職場体験活動を行っている学校の割合は、小学校で低く、全国値とのかい離が大きい。

	質 問 事 項	小学校 (%)					中学校 (%)				
		H24	H22	H21	H20	H19	H24	H22	H21	H20	H19
1	地域の人材を外部講師として招聘した授業を行ったか	80.5	82.0	70.0	75.7	79.3	63.4	44.2	56.8	54.5	58.2
		- 1.6	+ 3.4	- 4.2	+ 0.9	+ 0.9	+ 3.1	- 6.8	+ 0.2	- 3.4	- 1.4
2	博物館や科学館、図書館を利用した授業を行ったか	38.9	34.6	27.3	33.1	31.9	28.0	20.2	23.7	25.9	30.7
		- 1.8	- 1.6	- 6.8	- 3.4	- 6.5	+ 12.0	+ 6.2	+ 7.0	+ 7.7	+ 10.0
3	職場見学や職場体験活動を行っているか	32.5	22.9	22.5	25.9	22.5	98.3	100.0	99.1	97.3	99.1
		- 10.0	- 14.8	- 13.7	- 8.5	- 10.1	+ 0.0	+ 2.2	+ 2.0	- 0.5	+ 3.1

VI 平均正答率の高い県との比較

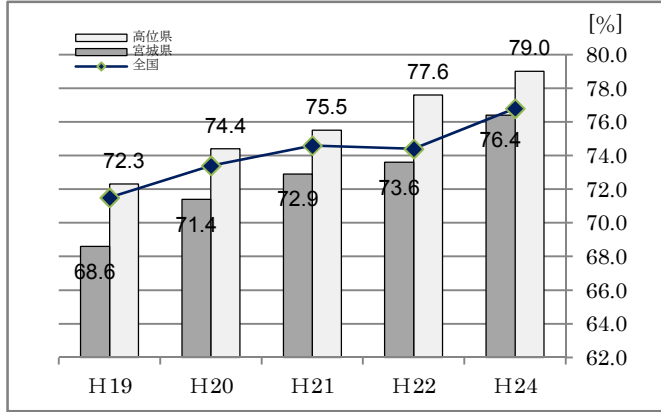
児童生徒質問紙調査において、宮城県全体の課題をより明確に把握したいと考え、自尊意識、将来の夢や目標、基本的な生活習慣、学習習慣、教科への取組や関心・意欲・態度に関する項目について、平均正答率の高い県（以下、高位県）と比較した。

児童生徒質問紙調査の全項目の中から特徴の見られた主な12項目について列挙する。

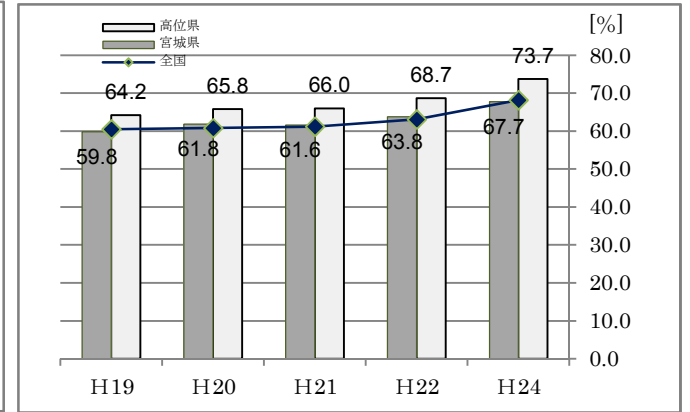
(1) 自尊意識や将来の夢や目標に関する質問事項の比較結果

①自分にはよいところがあると思いますか。

【小学校】

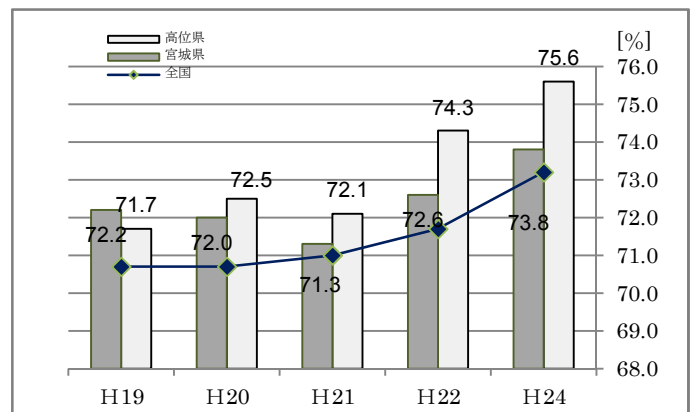
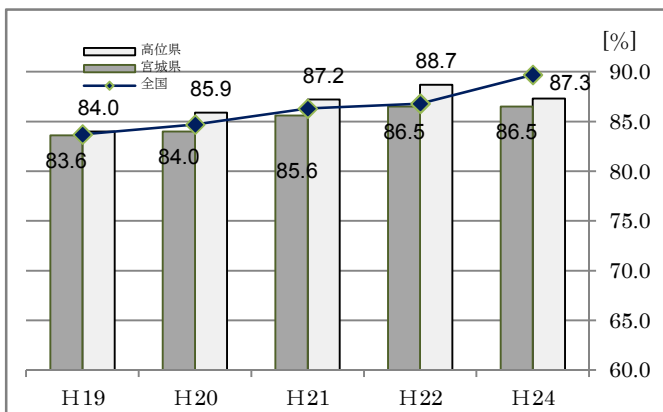


【中学校】



・小・中学生ともに全国値には近いが、高位県よりも低い。

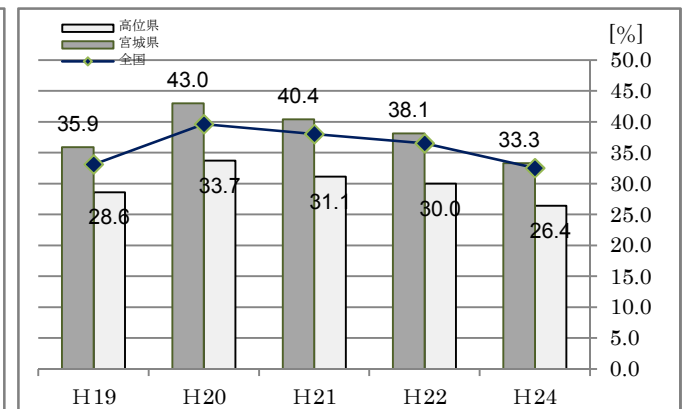
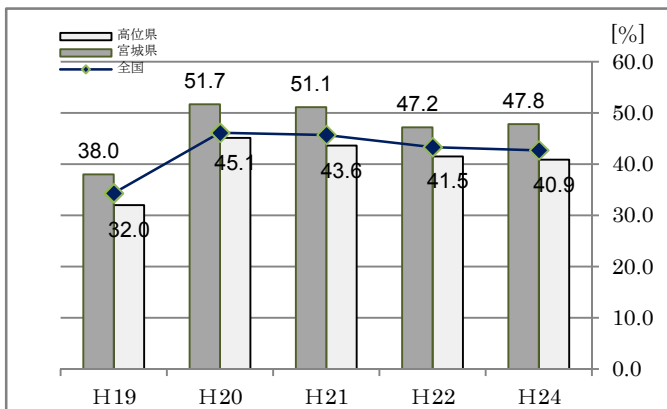
②将来の夢や目標を持っていますか。



・小学生は全国値及び高位県よりも低い。
・中学生は全国値より高いが、高位県よりも低い。

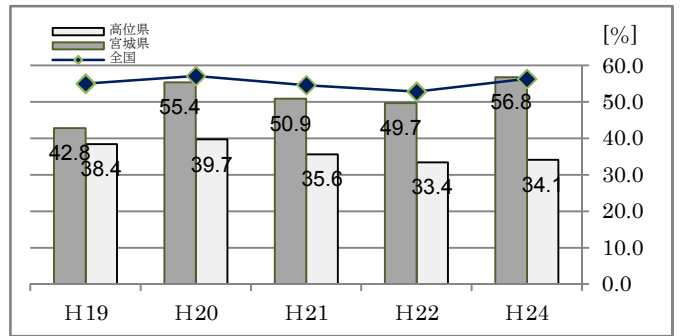
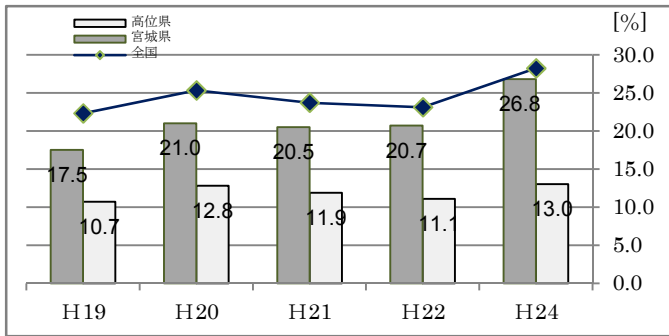
(2) 基本的な生活習慣に関する質問事項の比較結果

①1日何時間、テレビ等を見ますか。(3時間以上と回答した割合)



・小学生は全国値及び高位県よりも高い。
・中学生は全国値に近いが、高位県よりはかなり高い

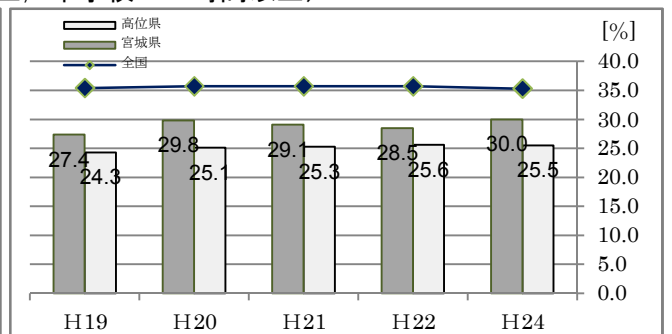
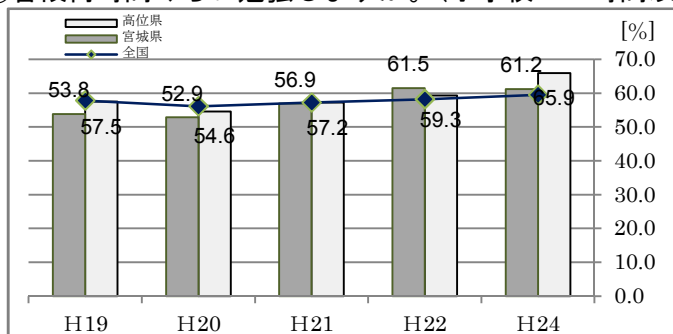
②携帯電話で通話やメールをしていますか。(毎日あるいは時々と回答した割合)



- ・小学生は全国値よりも低いが、高位県よりはかなり高い。
- ・中学生は全国値に近いが、高位県よりはかなり高い。

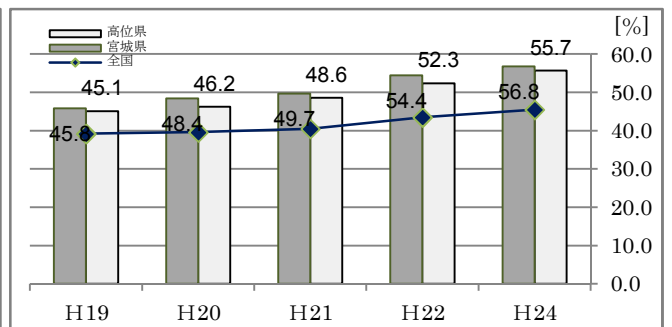
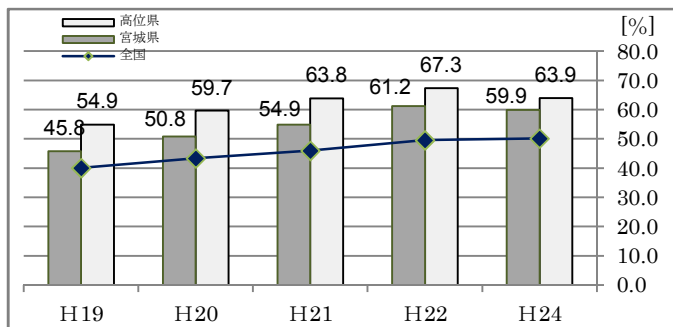
(3) 学習習慣に関する質問事項の比較結果

①普段何時間くらい勉強しますか。(小学校：1時間以上，中学校：2時間以上)



- ・小学生は全国値よりも少し高いが、高位県よりは低い。
- ・中学生は高位県よりも高いが、全国値よりは低い傾向が続いている。

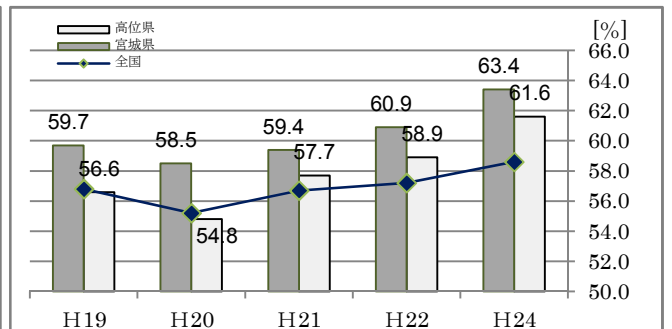
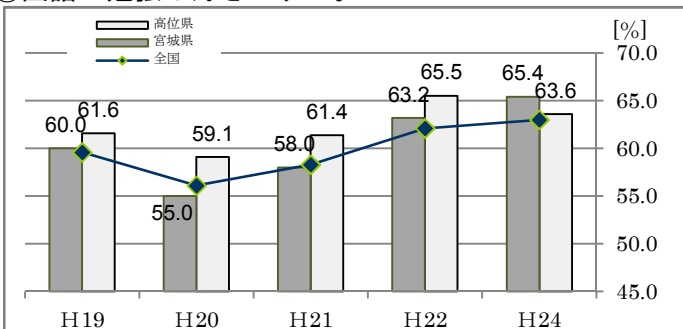
②家で学校の授業の復習をしていますか。



- ・小学生は全国値よりも高いが、高位県よりは低い。
- ・中学生は全国値及び高位県よりも高い。

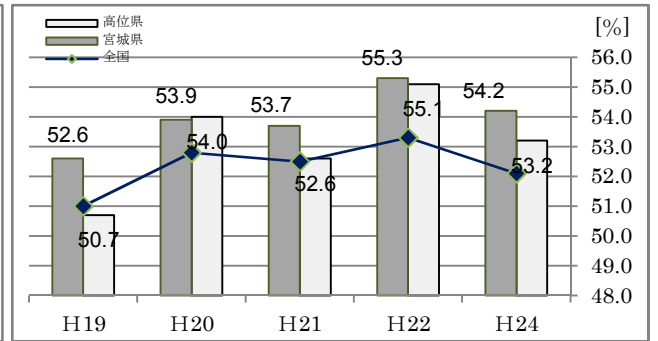
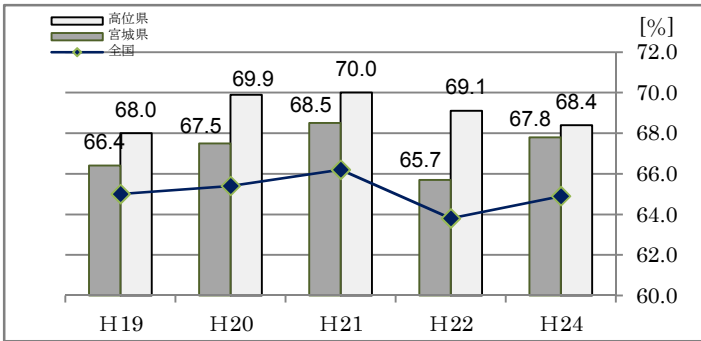
(4) 教科への取組や関心・意欲・態度に関する質問事項の比較結果

①国語の勉強は好きですか。



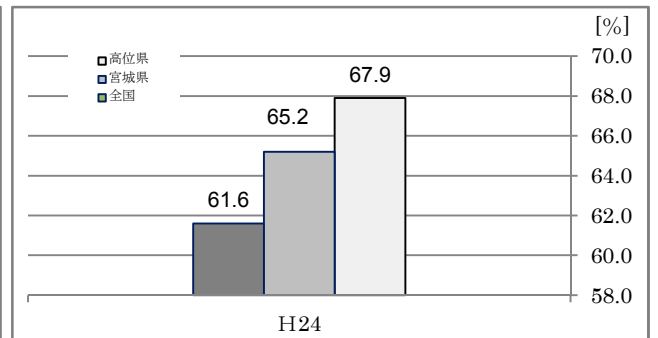
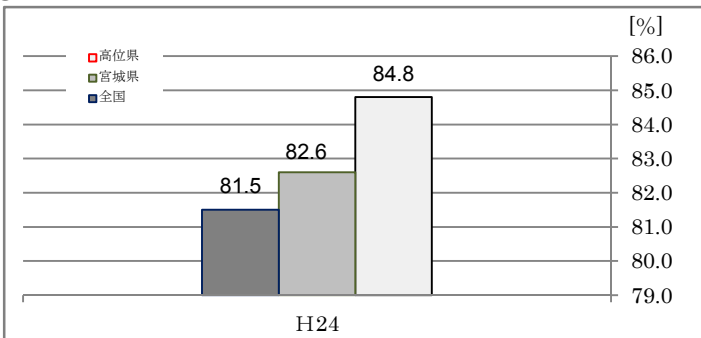
- ・小・中学生ともに増加傾向で、全国値及び高位県よりも高い。

②算数・数学の勉強は好きですか。



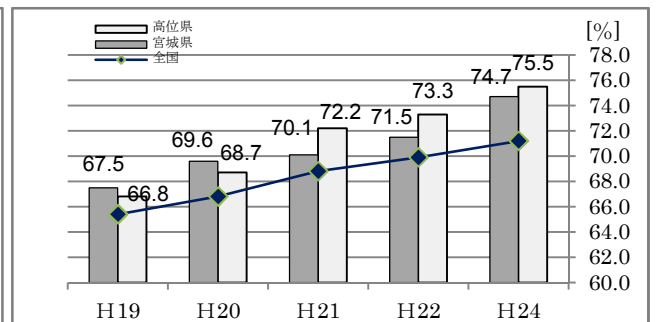
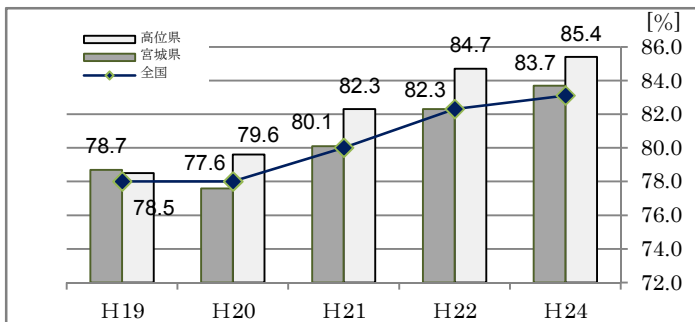
- ・小学生は全国値よりも高いが、高位県よりは低い。
- ・中学生は全国値及び高位県よりも高い。

③理科の勉強は好きですか。



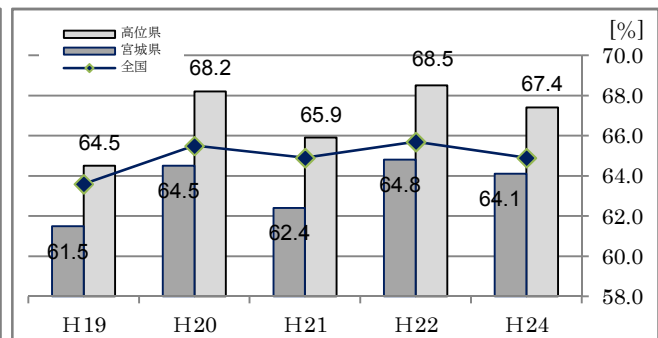
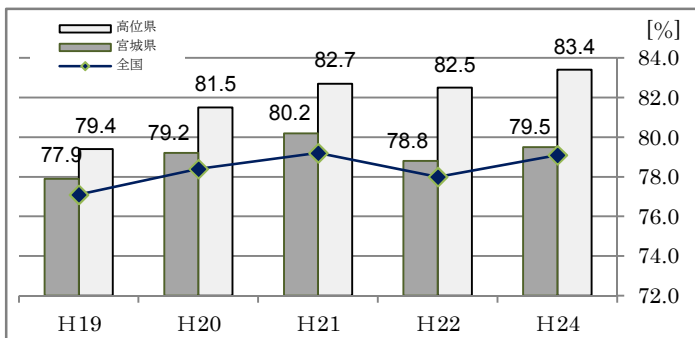
- ・小・中学生ともに全国値よりも高いが、高位県よりは低い。

④国語の授業の内容はよく分かりますか。



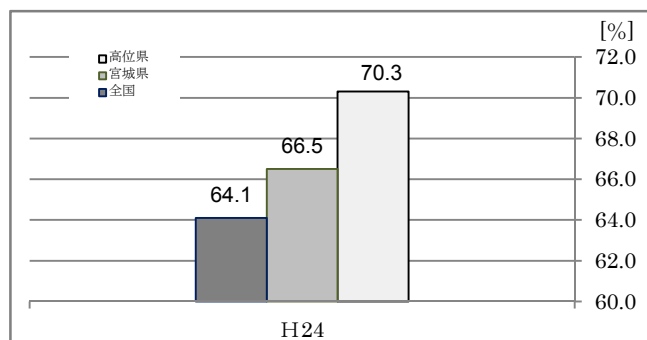
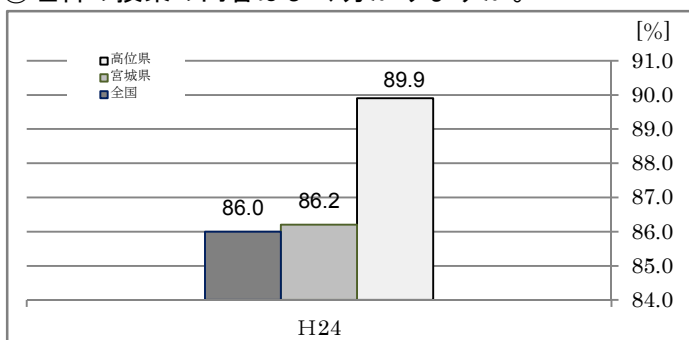
- ・小学生は全国値よりも高いが、高位県よりは低い。
- ・中学生は全国値よりも高く、高位県に近い。

⑤算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。



- ・小学生は全国値とほぼ同程度であるが、高位県よりは低い。
- ・中学生は全国値及び高位県よりも低い。

⑥理科の授業の内容はよく分かりますか。



- ・小学生は全国値とほぼ同程度であるが、高位県よりは低い。
- ・中学生は全国値より高く、高位県よりは低い。

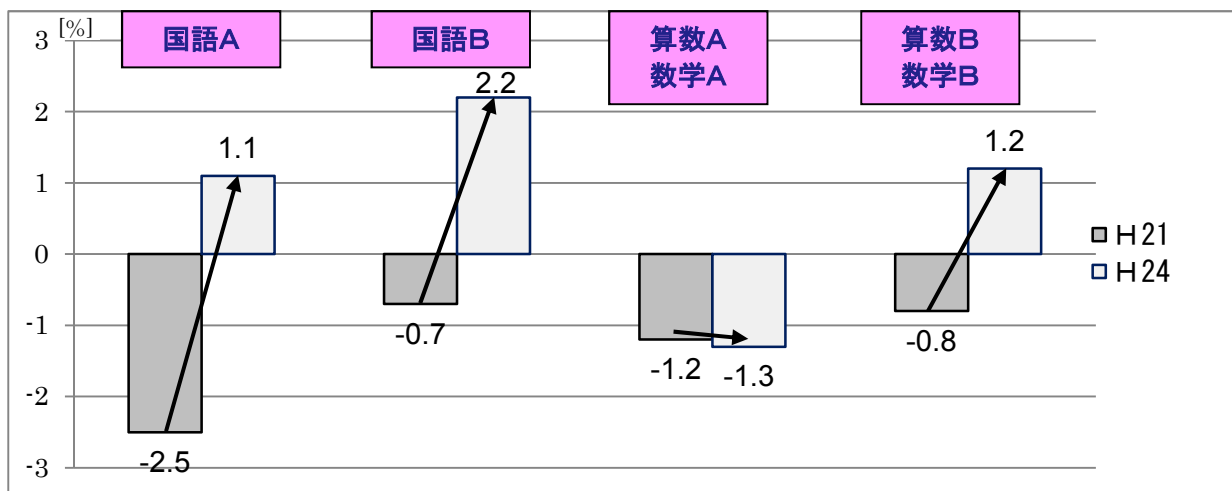
(5) 高位県との比較から見てきた宮城県全体の状況

- 自尊意識は向上してきているが依然として低い。
- テレビ等の視聴時間が長く、携帯電話でメール等をしている回数も多い。
- 授業の復習をしている小学生の割合が低い。
- 国語の勉強が好きと答える小学生、国語や数学の勉強が好きと答える中学生の割合は高いが、算数の勉強が好きと答える小学生、理科の勉強が好きと答える小・中学生の割合は低い。
- 国語、算数・数学、理科のすべての教科において授業の内容が分かると答える小・中学生の割合が低い。

VII 平成21年度の調査結果との比較

今年度の抽出調査に参加した中学校3年生は、平成21年度調査で小学校6年生として本調査を受けていることから、今年度調査対象となった中学校3年生と平成21年度の小学校6年生の調査結果について、全国平均正答率とのかい離の比較を行うことにより、別な視点から本県の取組の成果や課題等が見えてくるものと考えた。

○教科に関する調査結果（全国平均正答率とのかい離の比較）



- 国語 A, 国語 B, 算数 B・数学 Bにおいては、小学校6年生の時には全国平均を下回っていたが、3年後の中学校3年生の時には全国平均を上回る結果となっている。
- 算数 A・数学 Aにおいては、小学校6年生の時に全国平均を下回っており、3年後の中学校3年生の時には全国平均を同じ程度下回る結果となっている。